

成 城 大 学  
図 書 館 年 報

第 17 号  
( 2015 )

2 0 1 5 年 度

図 書 館 業 務 報 告

## 目 次

はじめに（図書館長） .....	3
I 概況 .....	5
1 2015年度の図書館業務 .....	5
(1) 図書館業務の概況 .....	5
(2) 情報管理課 .....	9
(3) 情報サービス課 .....	12
(4) 資料選定委員会 .....	14
(5) システム委員会 .....	16
(6) 企画広報委員会 .....	17
(7) 図書館活用法実施委員会 .....	20
(8) 図書館ガイダンス委員会 .....	21
(9) スチューデントアシスタントワーキンググループ .....	23
(10) 配架検討ワーキンググループ .....	25
(11) AVゾーン改修検討ワーキンググループ .....	26
2 図書館職員の研修 .....	27
3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学） .....	28
(1) 五大学図書館懇談会 .....	28
(2) 世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会 .....	29
(3) 四大学図書館相互利用実績 .....	30
(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績 .....	31
II 2015年度の委員会報告 .....	33
1 図書館委員会報告 .....	33
2 運営会報告 .....	35
3 課長・課長補佐会報告 .....	38
III 2015年度の図書館年次統計 .....	43
1 現況 .....	43
(1) 利用状況 .....	43
(2) 所蔵資料数 .....	43
(3) 電子情報資源種類数 .....	44
(4) リポジトリ登録件数 .....	44
(5) 雑誌所蔵種類数 .....	44
(6) 継続受入雑誌種類数 .....	44
(7) AV・マイクロ累積タイトル数 .....	44
2 受入報告 .....	45
(1) 図書受入報告 .....	45

(2) 雑誌受入報告	4 6
(3) AV・マイクロ資料受入報告	4 7
(4) 学習図書年度別受入一覧	4 8
3 整理業務統計	4 9
(1) 図書整理冊数	4 9
(2) 修士論文整理冊数	4 9
(3) 博士論文整理冊数	4 9
(4) AV・マイクロ点数	4 9
4 運用業務統計	5 0
(1) 入館者統計	5 0
(2) 月別図書貸出統計	5 1
(3) 分野別貸出図書統計	5 2
(4) ベストリーダー	5 3
(5) 閉架書庫内図書月別利用統計	5 5
(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計	5 5
(7) 貸倉庫預入資料利用統計	5 6
(8) 研究室別貸出図書統計	5 6
(9) 研究室別貸出雑誌統計	5 7
(10) 施設利用統計	5 8
(11) 貴重書室利用統計	5 8
(12) 3号館雑誌室・書庫利用統計	5 9
(13) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計	6 0
5 参考業務統計	6 1
図書館間相互協力	6 1
6 AV資料等運用業務統計	6 2
(1) AV・マイクロ資料利用統計	6 2
(2) AVホール利用統計	6 3
(3) AVゾーン利用者別統計	6 3
(4) マイクロ資料利用者別統計	6 3
(5) 保守点検等	6 3
7 図書館機械化の経緯と現状	6 4
(1) 図書館システム導入の経緯	6 4
(2) 現状	6 5
8 図書館施設概要	6 7
IV 組織	6 8
1 組織図	6 8
歴代図書館長	6 9
略史	6 9

## はじめに

図書館長 山本 輝之

2015 年度の成城大学図書館の活動について、特記すべきことは、私立大学図書館協会の研修会と五大学図書館懇談会という 2 つの重要なイベントを開催したことである。特に、後者は、成り立ちや規模において共通点の多い五大学の図書館関係者が一堂に会し、現在大学図書館が直面している課題について、率直に意見交換を行う場として、大変有意義なものである。ちなみに、今回のテーマは、①業務委託化の問題、②電子ジャーナルの価格高騰とリバースチャージの問題、③電子ブック購入の問題、④蔵書選定基準の問題などであり、どのテーマについても、活発な意見交換が行われ、多くの重要な示唆を得ることができた。今後、五大学図書館の連携をさらに密にし、情報交換を行っていきたいと考えている。

また、新たな取り組みとして、①図書館ホームページのリニューアル、②学生部との共催による放課後上映会の開催、③学修支援の一環としてのワード講習会の開催、④地下 3 階書庫への学生の入庫の許可とそのためのガイダンスの開催などをあげることができる。このような取り組みは、多くの先生や学生から大変好評を得ており、アクティブラーニングエリアの定着とともに、入館者数の増加につながったものと考えられる。さらに、それ以外にも、⑤「アンとゆりかごの」の著者である村岡恵理氏（文芸学部卒業生）による講演会、⑥メディアネットワークセンターとの共催によるアクティブラーニング等に関する講演会、⑦成城大学初となる、ライブラリーサポーターによるビブリオバトルの開催も行った。これらの催しにも、多くの方々にご参加いただき、活発な質疑応答がなされる等、大変充実した内容のものとなった。今後も、利用者の要望をできるだけ取り上げて、図書館の施設・設備を活かした催し物を開催していきたいと考えている。

以上のようなことを通じ、さらには、図書館職員の尽力もあって、利用者の満足度はかなり上がっており、活気のある図書館となりつつあるように思われる。また、今年度末には、空調とトイレの改修工事を行い、利用環境も整いつつある。しかし、他方で、抱えている課題も少なくない。まず、静かに勉強したい利用者の環境確保や先生方の研究支援により配慮を行っていく必要がある。また、アクティブラーニングが定着した後の学修サポート体制をどのように構築していくかということも早急に検討しなければならない問題である。さらには、洋雑誌価格の高騰、人事や組織の問題、新収資料所蔵スペース確保のための貸倉庫への預け入れや書籍等の除籍の問題等々である。これらを一朝一夕に解決することは大変難

しいが、時代の変化に対応し、利用しやすい図書館の体制を作り上げていくためには、これらの問題の解決は避けて通れないものである。そのために、関係各位のさらなるご支援、ご協力をお願いする次第である。

## I 概況

### 1 2015年度の図書館業務

#### (1) 図書館業務の概況

##### ① 人事・組織

###### A. 人事

- 専任職員は14名であったが、事務長は大学局長と兼務であった。
- 前年度末の退職者と異動による欠員2名分については補充を行わず、業務の効率化により対応した。
- 木畑洋一法学部教授の図書館長任期満了に伴い、新たに山本輝之法学部教授が就任した。
- 情報管理課契約職員の産休に伴い、6月2日付けで代替派遣職員の採用があった。
- 7月1日付けの人事異動により、情報サービス課主任1名が民俗学研究所へ異動となった。
- 職員の人事異動に伴い、8月3日付けで代替派遣職員の採用があった。
- 10月1日からの雑誌業務委託化に伴い、情報管理課所属の臨時職員4名が退職となった。
- 情報管理課専任職員1名が2016年2月より産休を取得した。
- 2016年3月末をもって、情報サービス課長が初等学校事務室へ異動となった。

###### B. 組織

- 4月1日より従来の3課体制（総務課・整理課・運用課）から2課体制（情報管理課・情報サービス課）に変更となった。
- 10月1日より雑誌業務、並びに3号館雑誌室の管理運営を業務委託化した。
- 今年度より図書館長と課長による運営会の他に、課長と課長補佐を中心とした課長・課長補佐会を毎月開催し、情報交換を行った。
- 学生有志によるライブラリーサポーターを募集し、図書館長との懇談会や資料展示などの活動を支援した。
- 中期計画2015年版を作成し、学長向けのプレゼンテーションを行った。
- 第3回図書館委員会の開催時期を従来の11月中旬から10月下旬に早め、次年度予算の承認を得る形に変更した。
- 情報管理課職員1名が司書資格を取得した。
- 常務理事と図書館長による懇談の機会を設け、図書館が抱える諸問題や施設改修について意見交換を行った。

##### ② 図書館サービスの充実と多様化の促進

###### A. 学外向けサービス

- 成城大学リポジトリにて博士論文の公開を開始した。
- 後期より成城学園未来募金の懸賞制度による図書館利用を開始した。

#### B. 学内向けサービス

- 3号館雑誌室備付のブックスキヤナーについて、学部生による利用を可能にした。
- メディアネットワークセンター所管の学習用PC8台（固定4台、貸出用4台）を増設した。
- ガイダンスの受講を条件に、卒業論文作成のための学部生の書庫入庫を可能にした。

#### C. イベント

- 昨年に引き続き6月に丸善ジュンク堂渋谷店にて選書ツアーを開催した。
- 文芸学部の先生方や他部署とも連携し、図書館AVホールで上映会を4回開催した。
- 8月にロー・ライブラリアン研究会との共催で、ハワイ大学ロースクール図書館ライブラリアンの奥原恵子氏による公開研究会「カメハメハの島の大学図書館」を開催した。
- 11月に駒澤大学で開催されたビブリオバトルに本学のライブラリーサポーター2名がオブザーバーとして参加した。
- 2016年1月に村岡恵理氏による講演会「アンがくれた贈り物 ～曲がり角の先にある想像の世界へ～」を開催した。
- 2016年1月に第1回ビブリオバトルを開催した。
- 2016年2月にメディアネットワークセンターと共催で、アクティブラーニングに関する合同講演会を開催した。

#### D. 展示

- 6月にライブラリーサポーターによる企画展示「LS collection Vol.1」を開催し、普段学部生が入庫できない書庫資料の紹介を行った。
- 6月のオール成城学園に合わせ「成城学園から巣立った先輩たち」を開催し、本学の卒業生による映画作品や著書の紹介を行った。
- 6月にアイルランド大使館からの要請に基づき、W.B. イエイツ（1865-1939）の生誕150年を記念したパネル展示を行った。
- 7月に学生部発行の学生生活243号で紹介された「この夏休みに見るべき映画～冒険～」と『『大学生』の登場する本・映画特集』を同時期に開催し、所蔵資料の紹介を行った。
- オープンキャンパスと夏季休講期間中に来館する高校生向けにちりめん本の展示を行った。
- 10月に選書ツアーで購入した資料の展示を行った。
- 11月の文芸学部シンポジウムに合わせ「怪奇鳥獣図巻」の電子化と資料の展示を行った。
- 12月にライブラリーサポーターによる企画展示「クリスマスにおすすめDVD展示」を行った。

#### E. その他

- 2016年度からのILL料金無料化に向けた検討を開始し、会計課とも調整を行った。
- シラバスコーナー・キャリア支援コーナー・文庫新書コーナーの設置に向け、検討チームを立ち上げた。
- 夜間業務委託マニュアルの見直しを行った。
- 地下3階書庫で見出し板の更新を行った。また、開架閲覧室で日本十進分類法（NDC）6版と9版で配架場所にズレが生じている箇所にて代本板を設置した。



○図書館長と4研究科長とで、修士論文の閲覧と複写に関するルールを再確認した。

### ③ 資料の収集と廃棄・保管等

○一部の学部と図書館でコーポレートカードの利用を再開した。

○書店連携発注システム（Knowledge Worker）の導入を行った。

○リバースチャージの導入にあたり、学部や会計課との調整を行った。

○2016年度契約のための洋雑誌リニューアルにおいて、誌代の高騰により一部学部でタイトルの見直しが発生した。

○グローバル研究センターより、同センター発行の紀要について、成城大学リポジトリへの登録申請があった。

○2016年度からの大学共通図書費の有効活用に向け、図書館委員会で新たなルールの策定を行った。

○間接経費にて以下の資料を購入した。

- ・Dictionnaire des sciences medicales, par une societe de Medecins et de chirurgiens …, Tome 1-60
- ・通産政策史資料オンライン版（一次史料）

### ④ 学外組織との連携・相互協力

○私立大学図書館協会東地区部会次期研究部担当理事校として、協会研究助成委員会へ情報サービス課主任を派遣した。

○私立大学図書館協会東地区部会次期研究部担当理事校として、研究部運営委員会へ事務長を派遣した。

○私立大学図書館協会東地区部会研究部主催の研修会開催にあたり、11月4日と5日の2日間、本学の図書館を会場として提供した。

○五大学図書館懇談会の幹事校として、11月9日に本学で第40回五大学図書館懇談会を開催した。

○四大学図書館相互利用における文献複写に関する申し合わせに甲南大学を加える提案があり、次年度からの実施に向け、幹事校として各校との調整を行い、新たな申し合わせを策定した。

○四大学図書館相互利用（訪問利用）のための利用便覧の取りまとめを幹事校として行った。

○4月に朝日新聞社よりアクティブラーニング改修に関する取材があり対応した。

○横浜市立大学と桜の聖母短期大学から見学依頼があり対応した。

### ⑤ 学内他部署との連携・協力

○4月のフレッシュマンキャンプに情報管理課職員1名が参加した。

○オール成城学園・オープンキャンパス・父母懇談会・文化祭で一般公開を行った。

○キャリアセンターとの連携により、9月に学内インターンシップを実施した。

○9月に自己点検評価委員による図書館視察があり、図書館長が対応した。

○学園募金事務室発行の募金レターにアクティブラーニングとライブラリーサポーターの紹介が掲載された。

○12月に開催された学長ランチミーティングにライブラリーサポーターが参加した。

○図書館ネットワークの学内ネットワークへの統合に向け、メディアネットワークセンタ

ーと協議を開始した。

○全学の新入生オリエンテーション検討チームに情報管理課職員1名を派遣した。

#### ⑥ 建物・備品・営繕

○メインカウンター用のブックチェックユニット1台を更新した。

○AVゾーン改修に向けたワーキンググループを立ち上げ、予算化に向けた検討を行った。

○以下の個所で機器の故障があり、管理課に対応を依頼した。

- ・地下3階設置除湿機のドレン管からの漏水。
- ・3号館雑誌室備え付け防犯カメラの不具合。
- ・開架室地下フロア空調システム（AC-3）のリレー不具合。

○2016年2月から3月にかけて、閲覧フロアの空調システム更新、屋上の防水工事、ト  
ップライトの遮光フィルム張替作業、トイレの改修工事等を実施した。

○各フロアに設置のウォータークーラーについて、使用頻度が低下したことから利用を中  
止した。

○高等学校図書室の改修により、文庫新書用の書架8台と低書架1台を譲り受けた。

○プレハブ倉庫が移転した。

○オンデマンドプリンタの入れ替えを行った。

○無線LAN未設置個所への敷設工事を行った。

○次年度の図書館システムリプレイスに向け、予算確定後に業者との協議を開始した。

#### ⑦ 危機管理

○4月と8月に4階事務室でネットワークケーブルの断線による不具合が発生した。

○図書館ホームページへの不正書き込みがあり、セキュリティ強化等の対応をした。

○夏季期間中、空調の温度管理等で節電対応を行った。

○全学の防災訓練に参加した。

○試験期間中等の混雑時を中心に、盗難防止のためのポスター掲示やチラシの配布、貴重品  
袋の提供等の対策を行った。

## （２） 情報管理課

### ① 人員と担当

４月１日付けの組織改編（３課体制から２課体制へ）により、従来の総務課と整理課の２課が統合され情報管理課となった。また、１０月１日からの雑誌業務委託化を受け、様々な準備作業が行われた。こうした点を踏まえ、年度当初には各業務分担等の見直しや席替えが行われ、新体制をスタートさせた。

人員は、情報管理課長を含めて専任職員７名、契約職員６名、臨時職員７名の体制で業務を行った。

業務分担は、図書については、受入・発注３名（内１名は除籍を兼務）、和書の整理５名、洋書の整理３名（内１名は受入を兼務）、ＡＶ・マイクロ資料については、発注・受入・整理・遡及あわせて３名（内１名は洋書受入・整理を兼務）、このほかに資料装備が１名（兼務によるサポートあり）であった。

雑誌業務については、前期中は、冊子体資料の契約管理・電子ジャーナルやデータベース等の契約・書誌情報の管理・日々のチェックイン・支払い処理を３名で担当した。また、雑誌室については、臨時職員を含む３名で雑誌室と地下書庫の運用全般と、他機関から依頼のあった文献複写への対応も行った。２０１５年１０月からは雑誌業務のうち契約に関する業務以外を委託化し、雑誌室にて作業を開始した。

会計業務については、従来通り１名が担当し、同時に庶務全般を統括した。日々の庶務的な作業については、複数の課員で分担した。

前年度から課長が事務長代理を兼務していたが、７月より事務長との兼務となったため、引き続き実質的な業務から離れてしまった。このため、課長補佐が整理業務全般を統括した。また、５月から職員１名が産休に入ったため、派遣職員１名にて対応した。２０１６年２月から新たに１名が産休を取得したが、先に産休中の職員が年度明けに復帰予定のため、新たな補充は行わなかった。

### ② 図書の発注・受入・除籍業務

#### a. 発注・受入業務

受入冊数は、購入・寄贈あわせて和書８，３５９冊、洋書２，３８８冊であった。

#### b. 除籍業務

除籍総数は３１７冊（和書１５５冊・洋書１６２冊）であり、不明本や汚損本のほか学部からの依頼による重複本が対象であった。

#### c. 寄贈

文芸学部より尾形仂先生所蔵漢籍資料の寄贈があった。また、法学部桑原康行教授からは洋貴重書が、更に、経済学部木村周市朗教授からは木村正身先生所蔵の貴重書寄贈があった。

### ③ 整理業務

#### a. 和書整理業務

整理冊数は、新規受入図書が８，４２３冊、再整理が３３６冊であった。

2010年から使用していた「図書記号の取り方」の改訂版である「図書記号規定」により整理作業を行った。このほか、NCD9版への変更にともなう分類の不一致等について、随時修正に努めた。

b. 洋書整理業務

整理冊数は、新規受入図書2,760冊、遡及720冊、再整理172冊であった。

昨年に引き続き英語多読資料の特別整理(361冊)を行ったほか、経済研究所所蔵高垣文庫の遡及チェック作業と研究所職員へのレクチャーも行った。

また、新たにナトルプ文庫の遡及整理(719冊)を開始したほか、6年計画の4年目として同文庫の脱酸処理(795冊)を行った。

④ AV・マイクロ資料業務

a. 受入

新規受入点数は967点であり、主な資料は、CD282点、DVD465点、Blu-ray95点、マイクロ資料70点であった。

b. 整理

新規整理点数は、映像資料423点、録音資料232点、電子資料58点、マイクロ資料34点であった。また、CDを中心に1,688点の遡及入力を行った。

c. 除籍

経年劣化等により使用不能となったDVDやCD-ROM8点の除籍を行った。

⑤ 雑誌業務

a. 発注・受入・整理

購入、編入あわせて2,139冊を受け入れた。また、3,050種の雑誌・紀要・新聞について受入作業を行った。いずれも図書館システムに所蔵登録を行い、バーコードラベルと無断持ち出し防止装置の装着後、情報サービス課や研究室・資料室等へ提供した。

b. 除籍

除籍は資産扱いのもの92冊と資産外扱いのもの38冊を処理した。重複資料や電子化が確認された紀要等については、学部了解を得ながら除籍作業を行った。

c. その他

例年通りJUSTICE調査への対応を行ったほか、会計課との間で前払い処理や返金処理等の対応も行った。

d. 委託化への対応

前期中から委託化に向けた準備として、雑誌業務と雑誌室運用に関するマニュアルの整備を行った。また、10月1日の委託化後もマニュアルの調整や運営上の問題点について、委託業者との定例会等を通じ、意見交換を行った。

⑥ 3号館雑誌室

雑誌室利用者へのサービスと地下書庫の管理を行ったほか、製本作業や文献複写業務も行った。

a. 製本業務

図書館と各学部あわせて1, 941冊の製本発注受入を行った。

b. 文献複写発送業務

処理件数は597件、枚数は4, 928枚であった。

⑦ 庶務業務

庶務担当は日常的に、郵便物処理、書類の配付・回覧、各種学内提出書類、文部科学省や日本図書館協会からの調査等対外書類・報告書の作成を行ったほか、学園資料の収集と保管、廃棄等の作業も積極的に行った。

⑧ 会計業務

会計担当は日常的に、支払依頼票起票、帳簿管理、書類内容チェック、前渡し金管理、現金収入管理、予算・決算書作成、伝票整理、固定資産台帳整理、原議書の起案等を行った。

また、次年度からのI L L料金無料化に向け、予算化や伝票処理の方法について、会計課との調整を行った。

⑨ システム管理業務

2016年度の学内ネットワークとの統合と図書館システムE-Catsのリプレイスに向け、メディアネットワークセンターや各業者との調整・実施計画の作成を行った。

⑩ 設備機器保守管理業務

a. 設備機器の保守管理を行った。

b. 各種設備・機器の修理依頼を行った。

c. 3号館書庫での温湿度調査を継続して行った。

d. 全学で実施した防災訓練に図書館地区隊として参加した。

### (3) 情報サービス課

#### ① 人員と構成

課員は課長を含めて専任職員 6 名、内訳は課長のほか参考係 2 名・閲覧係 3 名で、その他契約職員 5 名がメインカウンター・AVカウンター・配架等の業務を行った。7 月 1 日に閲覧担当の専任職員 1 名が大学総務課（民俗学研究所）に異動となった。8 月より 2 月に退職した契約職員の補充として派遣職員 1 名が加わった。

臨時職員は受付業務を 2 名が交替で行うほかに、配架係として 2 名が週 3～4 日の交替勤務を行った。

夜間の時間帯は業務委託職員が受付 1 名・閲覧係 2 名・AV 係 1 名で対応した。

#### ② 各カウンター業務

##### A. メインカウンター

###### a. 氏名掲示の廃止

個人情報保護の観点から、従来行っていた督促・忘れ物・予約に関する館内での氏名掲示を廃止した。

###### b. コミュニティー・カレッジ受講生へのサービス向上

過去の受講時に発行した貸出カード(有料)をデータ更新により再利用可能とした。

###### c. グループ学習室とプレゼンテーションルームの利用方法変更

利用増に対応するため、最長利用時間を 180 分から 90 分に変更し、他に利用希望者がいない場合はさらに 90 分までの延長を認めることとした。

###### d. 学部生の地下 3 階書庫入庫

10 月より指定のガイダンスを受けた学部 3・4 年生に地下 3 階書庫への入庫を許可することとした。10 月から 11 月にかけて行われた入庫ガイダンスには、合計 75 名が参加した。

###### e. 蔵書点検について

2 月 1 日から 22 日にかけて、1 階、地下 3 階、旧館 1 層・5 層の和洋書、約 24 万冊について蔵書点検を行った。

###### f. 空調およびトイレ改修工事について

工事のため全館的に暖房が停止した 2 月 8 日から 3 月 31 日にかけて、研究個室・グループ学習室・プレゼンテーションルームを利用停止とした。

###### g. 世田谷区民利用について（継続）

昨年度より開始した。今年度は前年度 3 月に申込を受け付け、4 月より年度末まで 3 冊 2 週間の図書貸出を含む図書館利用を可能とした。利用登録者は 13 名であった。

##### B. レファレンスカウンター

###### a. 各種ガイダンスについて

4 月恒例の新入生ガイダンスでは、大学院新入生へのガイダンスを担当した。教員からの要請による「ゼミ向けガイダンス」は 21 回行い、受講者は 246 名であった。

###### b. 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用件数は 12 件であった。

###### c. 蔵書点検について

参考図書コーナーおよび年鑑白書コーナーに配架されているすべての資料の蔵書

点検を行い、延べ人数6人、期間は2日間であった。

C. AVカウンター

a. 空調およびトイレ改修工事のため、2月8日から3月31日にかけて、AVゾーンを利用停止とした。

③ 祝日開館について

祝日授業のため、4月29日・7月20日・9月21日・9月22日・9月23日・10月12日・11月23日・12月23日の祝日に通常開館した。

④ 臨時開館について

試験および卒論に対応するため、7月19日・7月26日・12月13日の日曜日、12月25日・1月6日の年末年始、及び1月16日・1月17日のセンター試験日に臨時開館した。

⑤ 土曜日の開館時間延長について

土曜日の平日授業に対応するため、5月2日・5月9日に20時まで開館した。

#### (4) 資料選定委員会

##### ① 委員構成

委員長 1 名、委員 5 名

##### ② 任期

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

##### ③ 委員会の開催

定例で毎週火曜日の朝 9 時 10 分からの開催とし、2015 年 4 月から 2016 年 3 月まで、計 30 回開催した。

##### ④ 活動内容

従来同様に、出版案内・出版目録・新聞書評等を用いて、学生の利用を想定した資料及び貴重書の選定を行った。

購入希望（リクエスト）資料については、従来の選定作業のほか、運用方法の見直しを行った。それぞれの活動は下記のとおり。

##### A. 選定作業

購入希望（リクエスト）資料は、原則、委員会にて決定したが、定例の委員会以外でも必要に応じて各委員の意見を聴取した上で、委員長が購入の可否を決定した。

学生や教職員からの「リクエストカード」による購入希望および館員からの推薦による購入希望を含めた今年度の承認数は以下のとおりである。

和書	(学生 123	・	大学院生 183	・	教職員 9)
洋書	(学生 19	・	大学院生 93	・	教職員 0)
AV 資料	(学生 55	・	大学院生 0	・	教職員 26)
*単位は資料により異なる(冊・枚・本)					

##### B. 選定基準および申請方法の検討

###### a. 検討開始の経緯について

購入希望（リクエスト）資料の選定基準としては「成城大学図書館資料選定基準内規」「成城大学図書館購入希望（リクエスト）についての取り扱い」があるが、現状の対応に則していない部分もあった。また、申請方法はレファレンスカウンターで受付するリクエストカード（個人の勉強等に必要な資料の申請方法）と、オンラインで受付する My Library の「学生希望図書リクエスト」（推薦資料の申請方法）の 2 種類あり、使い分けられていなかった。

上記のことから当委員会では、2016 年 4 月 1 日に新しい購入希望（リクエスト）制度の運用開始を目指し、選定基準を見直し明文化するとともに、申請方法の一本化を検討することとした。

###### b. 選定基準について

従来の基準は、購入希望（リクエスト）制度の趣旨が不明瞭なこと、選定基準が曖



味なことが問題であった。そのため、新しい選定基準では、制度の趣旨を「学習・研究の支援」とし、購入不可の資料を明確化した。また、限られた予算内でより多くの要望に応えられるよう、申請件数の上限も設定した。さらに、選定基準を図書館 HP に掲載することで、利用者への広報にも努めることとした。

c. 申請方法について

申請方法は、OPAC の My Library 機能をさらに活用するため、オンラインへ一本化することとした。

オンラインでの申請にはメールアドレスの登録を必須とし、図書館員から申請者へ連絡を取ることで、利用者への丁寧な対応も心掛けることとした。

## （５）システム委員会

### ① 委員構成

委員長１名、委員５名

### ② 任期

２０１５年４月１日～２０１６年３月３１日

### ③ 委員会の開催

２０１５年度は４回開催。さらに、確認等の打合わせ、業者・関連部署との打ち合わせを数回行った。

### ④ 活動内容

２０１５年度のシステム委員会では、昨年度実施予定（１年見送り）だった図書館システムの更新に加え、図書館ネットワークの統合の方針を決定し、具体的なスケジュール、業者・関連部署との調整および準備を行った。

図書館システムは引き続き NEC E-Cats Library を採用し、Ver. 5 への更新を行うこととした。

同時に、大学のネットワーク外にあった図書館ネットワークを大学内に戻し、システム関連のサーバー（仮想）をメディアネットワークセンター（MNC）に設置することとした。

ネットワークの統合にともない、図書館 Web サイトについても、サーバー（仮想）を MNC に設置し、大学のドメイン内での運用を行うこととした。

昨年度検討を行ったディスカバリーサービスの導入については、３社によるプレゼン等を行いさらに検討を重ねたが、いずれも導入には至らなかった。

## (6) 企画広報委員会

### ① 委員構成

委員長 1 名、委員 5 名

### ② 任期

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

### ③ 委員会の開催

2015 年度は 10 回開催した。このほか、行事の企画および印刷発行物の製作状況等に応じて、短時間の打ち合わせを何度か行った。

### ④ 活動内容

今年度より、従来の広報委員会から各種企画の運営を行う企画広報委員会に業務内容を拡充させ、名称も変更した。具体的な活動内容は以下のとおり。

#### A. 各種刊行物の編集・発行・配布

##### 『図書館暦』

128 号（2015 年 6 月発行）からデザインを一新し、下記のように大幅リニューアルを行った。

- A4 サイズから持ち帰りやすい大きさの A5 サイズに変更
- 全ページカラー刷り、紙面全体のデザインを一新
- 従来よりページ数を増やし、より充実した内容を発信するため、年 4 回（7 月・10 月・1 月・4 月）発行から年 2 回（6 月・12 月）発行に変更
- 図書館キャラクターの「Libo 君」や、写真・イラストなどを増やし、親しみやすいページ構成に変更

#### 〈各号の内容〉

第 128 号 2015 年 6 月発行（A5 版、16 頁、3,000 部）

- ・館長×ライブラリーサポーターの対談
- ・成績UPのコツ教えます！
- ・“大学生で作家デビュー” おすすめ著書
- ・Information

第 129 号 2015 年 12 月発行（A5 版、16 頁、3,000 部）

- ・WHAT IS LIBRARY SUPPORTER?
- ・図書館インターンシップ体験記
- ・先生からの” 旅のススメ”
- ・学生の登場する映画・本特集
- ・Library Information

『Seijo University Library Guide』（和文、B5 版、全 12 種）

各施設の使い方、各カウンターのサービス内容などを説明したリーフレットである。

#### 『名刺サイズカレンダー』

開館カレンダーを名刺サイズで発行した。今年度は1年分を作成したが、来年度は、上期、後期と2回に分けて図書館暦とセットで印刷することとした。

#### 『図書館パンフレット』（外部者向け）（三つ折り、カラー、3,000部）

図書館の歴史、特徴、各階の案内等を載せたパンフレットを作成した。

#### B. 『イエイツ生誕150周年記念』展示

アイルランド大使館の依頼により、「イエイツ生誕150周年記念」展示を6月15日より約1か月間行った。大使館が用意したパネル（2m×1m）13枚とDVDの上映、図書館所蔵の関連書籍（図書約6冊）を図書館1階にて展示した。

#### C. オール成城学園記念『成城学園から巣立った先輩たち』展示

6月7日（日）に開催したオール成城学園オープンキャンパスのために、成城学園の卒業生をテーマに、先輩たちの著書や作品を展示した。料理研究家の栗原はるみさんや水族館プロデューサーの中村元さんなど卒業生9名のパネル・作品（図書等）を展示した。

#### D. 上映会『SEIJO放課後シアター』開催

教育改革・地域開放の実現に向け、多くの映画人を輩出した成城学園の魅力を発信するため、学部生と共催で上映会を開催した。上映会の名前は、『SEIJO放課後シアター』と名付けた。

##### 〈各回の内容〉

##### 第1回 SEIJO放課後シアター 7月2日開催

『アーティスト』上映会&木村建哉先生・小河原あや先生講演会  
作品：『アーティスト』 ミシェル・アザナヴィシウス監督作品  
（101分モノクロ作品 2011年フランス映画）

##### 第2回 SEIJO放課後シアター 12月10日開催

『ミツバチのささやき』上映会&谷内田浩正先生講演会  
作品：『ミツバチのささやき』 ヴィクトル・エリセ監督作品  
（99分作品 1973年スペイン映画）

##### 第3回 SEIJO放課後シアター 12月22日開催

作品：『ゼロ・グラビティ』 アルフォンソ・キュアロン監督作品  
（91分作品 2013年アメリカ映画）

##### 第4回 SEIJO放課後シアター 1月15日開催

作品：『桐島、部活やめるってよ』 吉田大八監督作品  
（103分作品 2012年日本映画）

#### E. 学生部共催の展示

学生部発行の『Campus Seijo 学生生活』243号の「教職員が選ぶこの夏休みに見るべき映画」で紹介された資料の展示を7月13日から31日まで、図書館で行った。テーマは“冒険”

で、映画に精通した教員・職員、そして映像関連の部活の部長さんによる厳選おすすめの作品を展示した。

#### F. 夏休み期間中の展示

8月2日から9月上旬まで、下記の展示を行った。

a. オープンキャンパス特別展示 貴重書「ちりめん本」展示

b. 「大学生」の登場する本・映画特集

成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻在学中で、ハヤカワSFコンテスト大賞を受賞した柴田勝家さん（ペンネーム）の等身大パネルと一緒に、大学生が登場する本や映画を展示した。

c. 「冒険」テーマの教職員おすすめ映画

d. SEIJO紹介コーナー、受験生応援コーナー

大学案内や学部紹介のコーナーと、入試案内、過去問を展示した。

#### G. 文化祭一般公開（11月2日、3日）

今年度は、成城学園創立100周年記念・成城大学文芸学部公開シンポジウム（11月21日（土）開催）「怪異を語る」をテーマに、『怪奇鳥獣図巻』、『山海経』、その他関連資料の展示を行った。また、展示のテーマにあわせて「手作り妖怪グッズワークショップ」を開催した。館内には例年どおり音楽を流し、入館者は2日間で1,056人、ワークショップも人気で約70人が参加した。

展示は、11月末まで行った。

#### H. ホームページの運用について

2015年3月27日にリニューアルしたホームページの運用方法を企画広報委員で検討した。新着情報やカレンダーについては、委員メンバーが作成できるよう、作成から承認までのフロー図を作成した。

#### I. サイネージの作成・運用

1階アクティブラーニングエリアにある大型モニタを使い様々なイベント情報の提供を行った。

#### J. 図書館グッズの作成

インターンシップ学生と成城大学LS（ライブラリーサポーター）に図書館グッズの企画についてプレゼンテーションしてもらった。委員会とライブラリーサポーターで検討した結果、グッズはエコバックに決定し、ライブラリーサポーター1人のデザインが採用された。エコバックは次年度の新入生ガイダンスで配布した。

#### K. 『アンのかご』著者 村岡恵理さん講演会開催

本学卒業生でNHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案となった「アンのかごー村岡花子の生涯ー」の著者である村岡恵理氏の講演会を2016年1月13日に開催した。企画広報委員会では、講演者の検討、ポスターやチラシの作成、掲示や当日の司会、補助を行った。

## (7) 図書館活用法実施委員会

### ① 委員構成

委員長1名、委員5名

### ② 任期

2015年4月1日～2016年3月31日

### ③ 委員会の開催

2015年3月から2015年12月まで、計25回開催した。

### ④ 活動内容

昨年度まで「情報リテラシー教育ワーキンググループ」の名称で活動していた本会は2015年4月より正式に「図書館活用法実施委員会」として運営することになった。

今年度で開講3年目となる「図書館活用法」は、昨年度に引き続き前期授業期間の水曜3時限目に821教室にて授業を行った。

7月の異動により若干の授業担当者変更が生じたが、全15回の授業と定期試験も無事終了し学生による授業評価アンケートの結果についても、まずまずの手応えが感じられた。

授業終了後の後期には来年度授業の検討を行い、基本的には今年度を踏襲しつつ、民俗学研究所等の学内他機関との連携や非常勤講師登用等の検討を行った。

また、2015年1月より副担当であった2名の委員が正委員となり、新たに1名が副担当として参加することになった。1名は異動により2015年6月末をもって委員を退任した。

## (8) 図書館ガイダンス委員会

### ① 委員構成

委員長 1 名、委員 5 名

### ② 任期

2015 年 5 月 1 日～2016 年 4 月 30 日

### ③ 委員会の開催

2015 年度は 12 回開催した。そのほか、担当者間で各種ガイダンスの打ち合わせを行った。

### ④ 活動内容

#### A. 各種ガイダンスの実施

##### a. レポート作成に関するガイダンス

対象を Microsoft Word が扱えない学生とし、レポートの体裁を整えるために必要となる基本的な操作方法を解説するガイダンスを行った。

ガイダンスの詳細は下記のとおり。

＜前期開催日＞

日 時：6 月 26 日（金）・7 月 1 日（水）～3 日（木）・6 日（月）

12 時 20 分～12 時 50 分

場 所：アクティブラーニングエリア

参加者：32 名（5 日間合計）

＜後期開催日＞

日 時：12 月 14 日（月）～18 日（金）

12 時 20 分～12 時 50 分

場 所：アクティブラーニングエリア

参加者：2 名（5 日間合計）

##### b. B3F 入庫ガイダンス

学部生は通常、職員による出納で地下 3 階の資料を利用しているが、卒業論文作成時は入庫させることは可能かとの要請を学部から受け、卒業論文作成予定者の地下 3 階への入庫方法を検討した。

対象者を学部 3 年生と 4 年生としたガイダンスを行い、ガイダンス受講者はメインカウンターに申し出ることで入庫が可能となった。

ガイダンスの詳細は下記のとおり。

日 時：10 月 29 日（木）～30 日（金）・11 月 9 日（月）～10 日（火）

12 時 20 分～12 時 50 分

場 所：地下 3 階書庫

参加者：75 名（4 日間合計）

c. 就活対策セミナー

今年度は、講師に日経メディアプロモーション株式会社の圓尾弘和氏を招き、日経新聞のガイダンスを12月と2月に行った。

ガイダンスの詳細は下記のとおり。

<12月開催日>

日 時：12月4日（金）・7日（月） 12時20分～12時50分

場 所：AVホール

参加者：55名（2日間合計）

<2月開催日>（業種別に開催）

日 時：2月15日（月） 14時40分～15時20分

場 所：311教室

業 種：食品・飲食業

日 時：2月18日（木） 14時40分～15時20分

場 所：311教室

業 種：銀行業

日 時：2月22日（月） 14時40分～15時20分

場 所：711教室

業 種：商社・卸売業

参加者：111名（3日間合計）

d. 新入生ガイダンス

2015年4月の新入生ガイダンスは、新入生が自分たちで館内をまわるオリエンタリング方式で行った。新入生が楽しみながら図書館の施設や資料に触れられるよう、簡単なゲームを盛り込んだ館内マップを渡し、館内各所に施設紹介のパネルを設置した。ガイダンス終了後には、企画広報委員会作成のブックカバーとしおりを記念品として渡した。

また、今年度も全学の入学式前オリエンテーションにて、図書館紹介ビデオを上映した。

B. 検討事項

a. ゼミ向け・授業向けガイダンス

レファレンスカウンター担当の標記ガイダンスを、当委員会が担当できるか検討を開始した。まずはガイダンス内容を把握するために、委員が補助要員としてガイダンスに参加した。

b. ライティングサポート

図書館中期計画の「学習支援のためのレファレンス強化」に基づき、ライティングサポートの可能性を探った。当委員会では、PCの使い方や資料の探し方等を教えるクイックレファレンスを導入の第一段階とし、設置場所や人員について検討を行った。



## （９）スチューデントアシスタントワーキンググループ

### ① 委員構成

委員長１名、委員５名

### ② 任期

２０１５年４月１日～２０１６年３月３１日

### ③ 委員会の開催

２０１５年度は８回開催した。

### ④ 活動内容

#### A. 選書ツアーを実施した。

昨年度と同様、ツアー実施期間内に学生が都合の良い日に書店に行き選書する方法とし、６月８日（月）～６月１３日（土）の期間にジュンク堂渋谷店で実施した。参加者は２０名、購入冊数は１６８冊であった。１０月１日（木）～１０月３１日（土）に選書された図書の展示を行った。

また、７月２日（水）東京国際ブックフェアでの選書ツアーに１名が参加した。

選書ツアー参加者には、図書カード１０００円分を支給した。

#### B. 初のビブリオバトルを開催した。

１月２９日（金）に図書館企画として初のビブリオバトルを開催した。聴衆は４０名強で、バトラーはライブラリーサポーター６名が参加し、大変好評であった。

#### C. インターンシップ学生３名を受け入れた。

キャリア支援部からの依頼により、９月１４日（月）～９月１８日（金）の日程で学生を受け入れた。昨年の反省を踏まえ、同じ内容の業務を継続して実習できるようにスケジュールを組んだ。図書館業務各部署の説明を受けたのち、整理・カウンター業務に１名、雑誌・レファレンス業務に１名、雑誌業務専属に１名を担当として割り振ることで、別々の業務を経験してもらい、最後に振り返りの中で情報の共有を行った。また、プログラムの中で、企画広報委員会の会議に参加し、図書館関連グッズ企画のプレゼンテーションを行った。その中で提案された図書館オリジナルバックが採用され、次年度の新入生ガイダンスで全員に配ることとなった。

#### D. ライブラリーサポーターの活動をサポートした。

本年度はライブラリーサポーターの登録者が２１名に増加し、活動も多岐にわたり活発化した。ライブラリーサポーターとスチューデントアシスタントワーキンググループとのランチミーティングも４回行い、活動の方向性を確認した。

ライブラリーサポーターの主な活動内容は以下のとおり。

##### a. 企画展示

- ・地下３階の普段学部生が目に見えない資料の展示（６月：地下２階）
- ・クリスマスにちなんだ映画の紹介展示（１２月：１階）

b. 広報誌への協力

- ・10月7日（金）にメンバー4名が学園広報誌『未来募金レター』の取材を受けた。
- ・図書館暦の2015年6月号に「館長とLSの対談：私たちの居場所の図書館へ」、2015年12月号に「WHAT IS LIBRARY SUPPORTER?」と題して、ライブラリーサポーターに関連した記事を掲載した。

c. ビブリオバトルへの参加

- ・11月10日（木）に駒澤大学図書館主催のビブリオバトルにバトラー2名、聴衆2名が参加した。
- ・1月29日（金）図書館主催のビブリオバトルにバトラーとして6名が参加した。

d. 学長とのランチミーティングに参加

- ・12月16日（水）の学長とのランチミーティングに6名が参加し、図書館や読書についての意見交換を行った。

e. 図書館利用プロモーションビデオの作成

## (10) 配架検討ワーキンググループ

### ① 委員構成

委員長 1 名、委員 5 名

### ② 経緯

前年度に結成した配架場所検討チームが、当初の目的である貴重書室内の書庫狭隘化問題対策に加え、新刊雑誌コーナーの新しいタイトルの選定や配架問題等に取り組むため、委員構成を変更の上、配架検討ワーキンググループとして活動した。なお、本年度において上記任務を遂行したため解散した。

### ③ 委員会の開催

2015年度は5回開催した。

### ④ 活動内容

以下についてそれぞれ担当を決め、個別に資料の移動作業等を行った。

#### a. 新刊雑誌コーナーの配架タイトル見直しを行った。

契機となったのは、アクティブラーニングエリア内へシラバスの配架場所を変更したことにより、同コーナーの書架に余裕が生まれたためである。委員会開催時は主にこの問題を扱い、既存タイトルから同コーナーへ配架変更する案や、日本雑誌協会や出版社の統計分析による新タイトルの選定案について検討した。最終的には、館内で雑誌を利用している学生を対象にしたアンケートをもとに新タイトルを選定し、運営会に提案した。

#### b. B3FのDブロック資料の再配置を行った。

同ブロックに別置されていた和雑誌を、Cブロックに移動したものである。情報サービス課内の資料移動作業として行った。

#### c. 貴重書室内における配架場所の再検討を行った。

前年度に地下3階に配架場所を新設した「B3F貴重書」への資料移動の結果、新しい配架計画が必要になったためである。ブラウジングによる資料へのアクセスを可能とするため、各種媒体や和洋区分、サイズによる書架の集約化を図った。本計画策定中に経済研究所が所蔵する貴重資料（高垣文庫）の保管依頼があり、一部の資料を引き受けた。

## ( 1 1 ) A V ゾーン改修検討ワーキンググループ

### ① 委員構成

委員長 1 名、委員 6 名

### ② 任期

2 0 1 5 年 5 月 1 2 日～2 0 1 6 年 3 月 3 1 日

### ③ 委員会の開催

2 0 1 5 年度は 5 回開催した。

### ④ 活動内容

情報サービス課内での A V ゾーン改修計画を全館的に検討するため発足した。オーディオソファを廃止し、映像資料の利用定員を増加させるとともに、英語多読に対応したコーナーを設けることを骨子とする素案をもとに 3 業者に改修案を依頼し、館内職員向けに各業者のプレゼンテーションを行なった。図書館委員会の承認を得た後に予算案を作成したが、他の改修を優先させる観点から 2 0 1 5 年度の予算申請は見送ることとした。

## 2 図書館職員の研修

### (1) 学外研修

年 月 日	研修主催団体・研修場所	研修会名
2015年 6月 8日	本所都民防災教育センター	防災講習（更新）
2015年 7月 1日 ～ 7月 3日	一橋大学	第16回西洋古典資料保存講習会
2015年 8月18日 ～ 8月20日	昭和女子大学	平成27年度図書館等職員著作権実務講習会
2015年 9月17日	あすか会議室 (東京日本橋会議室5階)	丸善アカデミックソリューションセミナー
2015年 11月11日	パシフィコ横浜	第17回図書館総合展
2015年 11月18日 ～ 11月20日	一橋大学	西洋社会科学古典資料講習会
2015年 11月19日	千葉大学	大学の新しい学修支援 「ICUにおけるアカデミック・ランニング・センターの事例から」
2015年 11月19日	(株)内田洋行	大学・高校実践ソリューションセミナー2015
2015年 12月11日	明治大学	私立大学図書館協会東地区部会研究分科会報告大会

### (2) 研究分科会

2015年 4月 ～ 2016年 3月	私立大学図書館協会 東地区部会研究部	和漢古典籍研究分科会
---------------------	-----------------------	------------

### (3) 館内研修

2015年 10月	図書館	防災訓練
-----------	-----	------

### (4) セルフラーニング研修

2015年 10月	国立情報学研究所	NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング CAT編：図書コース
-----------	----------	------------------------------------

### (5) 学内研修

S D研修（学園の現状、A E D講習、入試の動向について、タイムマネジメント研修ほか）、階層別研修、メンタルヘルス研修ほかに職員が参加した。

### (6) 出張

2015年 6月12日	東京農業大学	世田谷6大学コンソーシアム
2015年 6月13日	東北学院大学	2015年度私立大学図書館協会 東地区部会総会・館長会・研究講演会
2015年 8月27日	明治学院大学	第76回私立大学図書館協会全国総会

### 3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学）

#### （1）五大学図書館懇談会

2015年度第40回の懇談会は成城大学を幹事校として開催された。図書館活動の相互協力と五大学間の情報共有を中心に、館長・管理職・担当者の3グループに分かれ、各図書館が抱えている問題について意見交換を行った。

2015年度五大学図書館懇談会（第40回）

日 時：2015年11月9日（月）14：00～20：00

会 場：成城大学 本部・大学食堂棟3階 大会議室 ほか

出席者：成城大学からは図書館長ほか7名が参加

#### A. 全体会

五大学より各館の近況報告と共に、新たな取り組みや課題についての報告が行われた。

#### B. グループ討議

グループごとに各テーマについて討議を行い、最後に全体で情報共有が行われた。

##### a. 館長グループ

人事・組織について／利用者対応について／電子ジャーナルについて

以上3点について意見交換が行われた。

##### b. 管理職グループ

組織・業務委託について／書庫問題について／消費税について／協働について／図書館所蔵資料の使用料について／四大学図書館相互利用便覧の作成について

以上6点について意見交換が行われた。

##### c. 担当者グループ

アクティブラーニングについて／電子資料について／視聴覚資料について／蔵書構築について／N I I 問題について

以上5点について意見交換が行われた。

#### C. 図書館見学

#### D. 意見交換会

## (2) 世田谷 6 大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

第 15 回世田谷 6 大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

日 時：2015 年 6 月 12 日（金）15：00～19：00

会 場：東京農業大学 農大アカデミアセンター 8 階会議室 C ほか

出席者：成城大学からは図書館長ほか 5 名が参加

### A. 専門委員会

#### a. 報告事項

前年度の利用実績や利用証の発行数、横断検索アクセス数について報告があり、今年度の利用条件一覧の確認が行われた。

#### b. 協議事項

世田谷 6 大学の図書館相互利用専門委員会の次期委員長校について確認が行われた。また、電子ジャーナルの効率的な運用やオープンアクセス、機関リポジトリへの取組みに対する今後の方針等について各館より説明があり、情報共有が行われた。

### B. 情報交換会

図書館利用促進のための活動について/レファレンスサービスの紹介・周知方法について/利用状況（入館・貸出等）の動向について、以上 3 点について各校の実務担当者により意見交換が行われた。

### C. 講演会

講題：「図書館の I P M（総合的有害生物管理）を考える」

講師： 東京農業大学図書館長 矢口行雄

### D. 図書館見学

### E. 意見交換会

### (3) 四大学図書館相互利用実績

#### ①入館者統計(2015.4～2016.3)

所属大学 \ 受入館		学習院	成蹊	成城	武蔵	所属合計
学習院	教職員		1	7	2	171
	学生		45	54	62	
成蹊	教職員	77		5	3	118
	学生			24	9	
成城	教職員	43	0		0	142
	学生		83		16	
武蔵	教職員	40	1	3		108
	学生		35	29		
小計	教職員	160	2	15	5	539
	学生		163	107	87	
受入合計		160	165	122	92	539

＊学習院大学は2005年度から入館システムを変更した。

このため教職員・学生の区別が不可能となった。

#### ②貸出統計(2015.4～2016.3)

所属大学 \ 受入館		学習院	成蹊	成城	武蔵	合計
学習院	登録者数		9	8	22	39
	貸出冊数		29	25	66	120
成蹊	登録者数	9		4	7	20
	貸出冊数	66		6	11	83
成城	登録者数	8	8		5	21
	貸出冊数	32	25		13	70
武蔵	登録者数	13	9	5		27
	貸出冊数	41	18	12		71
合計	登録者数	30	26	17	34	107
	貸出冊数	139	72	43	90	344



(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2015.4～2016.3)

受入館 所属大学	国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			利用者数 合計		
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生
国士館大学から				10	4	24	1	0	2	3	37		0	0	0	0	10	15	14	51	41
				計 38			計 3			計 40			計 0			計 25			計 106		
駒澤大学から	1	2	37				1	5	21	8	42		0	1	10	1	0	8	11	50	76
	計 40						計 27			計 50			計 11			計 9			計 137		
昭和女子大学から	8	4	7	6	4	51				1	26		0	1	2	0	0	2	15	35	62
	計 19			計 61						計 27			計 3			計 2			計 112		
成城大学から	0	5	12	4	3	13	5	1	4				0	0	3	0	0	22	9	9	54
	計 17			計 20			計 10						計 3			計 22			計 72		
東京都市大学から	0	0	2	2	0	3	1	2	0	0	21					0	0	1	3	23	6
	計 2			計 5			計 3			計 21						計 1			計 32		
東京農業大学から	0	1	2	0	0	2	1	0	0	0	6		0	0	8				1	6	12
	計 3			計 2			計 1			計 6			計 8						計 20		
受入数 合計	9	12	60	22	11	93	9	8	27	12	132		0	2	23	1	10	48	53	175	251
	計 81			計 126			計 44			計 144			計 25			計 59			計 479		

※1 成城大学は、院生と学部生の区別はしていない。

②利用証（貸出登録）発行数（2015. 4～2016. 3）

発行先 発行館	国士館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			発行数 合計
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	
国士館大学より				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
駒澤大学より	1	3	6				1	0	9	0	0	1	1	0	1	0	0	0	23
昭和女子大学より	0	0	0	0	2	0				0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
成城大学より	0	1	2	1	1	4	1	0	3				0	0	2	0	0	1	16
東京都市大学より	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1				0	0	0	6
東京農業大学より	0	2	4	0	0	5	0	0	1	0	0	5	0	0	1				18
身分別登録者数	1	6	12	1	3	13	2	1	13	0	0	7	1	2	4	0	0	1	
登録者 合計	19			17			16			7			7			1			67

※1 発行館＝受入館として利用証（貸出登録）を発行した館

※2 国士館大学図書館・情報メディアセンターは、利用証を発行しないで貸出を実施。

## Ⅱ 2015年度の委員会報告

### 1 図書館委員会

#### ■第1回■ 2015年6月2日（火）

##### <報告事項>

2014年度業務概要／2014年度図書館決算報告／四大学・世田谷6大学相互利用実績について／春季休暇期間中の本学合格者による成城大学図書館の利用について／専任教員貸出資料の年度末確認作業について／2014年度の貸倉庫預入について／2015年度予算について／2015年度新入生ガイダンスについて／世田谷区民（在勤者含む）による成城大学図書館の利用について／選書ツアーの実施について／2015年度の臨時開館について／その他、①「利用者の声」について、②夏季休暇期間中の高校生による成城大学図書館の利用について、③成城大学図書館ライブラリーサポーターの活動について、④今年度の学内インターンシップ受入について、⑤書店発注システムとAmazonの利用について

##### <審議事項>

図書館購入雑誌の保存期間変更（案）について／成城学園未来募金の顕彰制度（案）について／2015年度大学共通図書費（案）について／2015年度学習図書費の配分（案）について

##### <その他>

AVゾーンの改修について／図書館の中期計画について

#### ■第2回■ 2015年7月21日（火）

##### <報告事項>

2015年度夏季休暇前後の図書館スケジュールについて／2015年度後期の貸倉庫預入について／次年度に向けた洋雑誌のリニューアルについて／成城大学インターンシップ学生受入について／その他、図書館のイベント実施について

##### <審議事項>

2015年度大学共通図書費（案）について／図書館AVゾーン改修（案）について

##### <その他>

図書館中期計画（案）について

#### ■第3回■ 2015年10月20日（火）

##### <報告事項>

今後のスケジュールについて／2015年度後期のガイダンスについて／貸倉庫預入資料の選定作業について／大学共通図書費、学習図書費の執行状況について／世田谷区民の図書館利用について

##### <審議事項>

2016年度図書館概算要求案について／空調改修工事期間中の閲覧サービスについて／グループ学習室とプレゼンテーションルームの利用について／学部生（3・4年生）に対する地下3階書庫への入庫について／修士論文閲覧許諾について／大学共通図書費に

について／学習図書費によるデータベースの購入について

<その他>

洋雑誌のリニューアルについて／大学4号館改修について／その他、開館時間の前倒しについて

■第4回■ 2016年2月18日（木）

<報告事項>

2016年度図書館予算・事業計画について／2015年度学習図書費・共通図書費の執行状況について／2015年度貸倉庫預入作業について／2016年度雑誌定期継続購入の新規・中止リストについて／2015年度臨時開館の入館者数について／2015年度ガイダンスの実施状況について／その他、①修士論文の取扱について、②館内での盗難について、③コーナー化について（文庫・新書／就活／シラバス等）、④リクエストの一本化（オンラインリクエスト）について、⑤四大学図書館相互利用（文献複写）について

<審議事項>

「大学共通図書費に関する合意事項」の修正について

<その他>

専任教員貸出資料の年度末確認作業について

## 2 運営会報告

### ■第1回■ 2015年4月8日（水）

利用者の声について／（ＡＶブース）オーディオソファの改修等について／館内盗難報告について／2015年度成城大学合格者の図書館利用について／2015年6月7日（日）開催のオール成城学園について／新任の専任教員または非常勤講師への図書館ガイダンスの開催について／募金された方への顕彰制度について／図書館におけるインターシップ生の受入について／私立大学図書館協会（東地区）について

### ■第2回■ 2015年4月22日（水）

世田谷区民の図書館利用について／入館者数について／配架検討WGの報告について／マイクロ資料について／2016年度予算等について／各種研修について／委員会等の開催予定日について／印刷製本費の管理について／2015年度第1回図書館委員会の開催予定日について／部局長会議の報告事項について

### ■第3回■ 2015年5月7日（木）

グループ学習室・プレゼンテーションルームの開放について／キャンパススクエアの学生メールアドレスの使用について／レファレンスの郵便物精算業務について／コミュニティー・カレッジ受講生の対応について／2015年度図書館委員会の開催予定日について／各種研修について／委員会等の開催予定日等について／課長・課長補佐会について／3号館雑誌室のブックスキャナーの利用について／ＡＶゾーンの改修等について

### ■第4回■ 2015年5月20日（水）

グループ学習室1（地下1階）の試験的開放について／ＡＶゾーン改修検討WGの委員会開催について／レファレンスカウンターからの提案について／ブラウジング日程について／アイルランド大使館からの展示依頼について／2015年度五大学図書館懇談会の開催日程について／成城学園創立100周年記念シンポジウムについて／学内インターシップ学生の受入について／3号館雑誌室のブックスキャナーの利用について／2015年度第1回図書館委員会について

### ■第5回■ 2015年6月3日（水）

2015年4月、5月の入館者数について／オール成城学園について／2015年度第1回図書館委員会について／大学4号館4階の文学研究科貸出資料について

### ■第6回■ 2015年6月17日（水）

3業者によるＡＶゾーン改修案のプレゼンテーション実施について／情報サービス課内業務等について／学生部と図書館共催の上映会について／夏季休暇中の受験生による図書館利用ならびに職員の勤務体制等について／怪奇鳥獣図巻の撮影について／募金者による図書館利用について

### ■第7回■ 2015年7月1日（水）

図書館購入雑誌の保存期間について／文学研究科研究室内資料の移動について／前期試

験期間の対応について／次回箱詰めの日程について／2015年6月までの入館者数等について／電子化された洋雑誌の取扱いについて／学生部・図書館主催の上映会について／2015年7月1日採用の新任職員の館内研修について／法学部指宿先生の講演会について／第2回（2015年7月21日）図書館委員会について／図書館の中期計画について

■第8回■ 2015年7月15日（水）

情報サービス課の2016年度予算に向けた要望について／文学研究科研究室の整理に伴う資料の移動について／図書館中期計画について／2015年度後期のブラウジング日程案等について／リバーチャージ方式の消費税の納税について／2015年度のインターンシップ学生（成城大生）の受入について／2015年度第2回図書館委員会の開催について／AVゾーン改修について

■第9回■ 2015年9月30日（水）

グループ学習室・プレゼンテーションルームの利用について／委託スタッフのメンバー交代について／サイレントゾーン（エリア）・閲覧席の電源コンセント設置について／2015年度後期ブラウジングについて／図書館購入雑誌の保存期間の変更について／研修について／学園募金室からの依頼について／学内における学生等の情報の取扱いについて／図書館年報（2014 第16号）について／防災訓練について／3号館雑誌室の業務委託について／五大学図書館懇談会について／修士論文の閲覧・複写について／2015年度第3回図書館委員会の開催について／卒業論文作成のための地下3階書庫の利用について／館内における学修支援スペースの設置について

■第10回■ 2015年10月15日（水）

「レポート作成ガイダンス」の実施について／2015年度のブラウジングについて／私図協東地区部会研修会（於成城大学）の開催について／西洋古典籍講習会の参加者について／ビブリオバトルについて／上映会について／学長ランチミーティングについて／2016年度予算について／2015年度第3回図書館委員会の報告事項等について

■第11回■ 2015年10月20日（火）

図書館委員会について／監査法人からの指摘事項について

■第12回■ 2015年10月21日（水）

ブラウジングの方法について／部局長会議の報告事項等について／五大学図書館懇談会について／学長ヒアリングについて／個人情報保護法に伴う検討会について

■第13回■ 2015年11月11日（水）

文化祭時の入館者数について／グループ学習室・プレゼンテーションルームについて／地下3階入庫ガイダンスについて／駒澤大学にて実施されたビブリオバトルについて／五大学図書館懇談会議事録について／2016年度予算について／次年度の「図書館活用法」について／私図協東地区部会研修会について

■第14回■ 2015年11月25日（水）

館内展示の怪奇鳥獣図巻の見学者について／卒業アルバム及び卒業パーティーで流れるビデオレターの作成について／4階空調監視盤の警報装置の作動について／『SEIJO 放課後シアター』について／空調工事等の工程の公表について／2016年度大学共通図書費（資産）について／文庫本・新書本・シラバス関係本等について／図書館正面入口前の案内掲示板について／世田谷6大学図書館相互利用条件一覧等について

■第15回■ 2016年1月20日（水）

蔵書点検・電動書架の保守点検について／開館時間延長に伴う勤務時間の変更について／館内の盗難等について／開館時間の変更について／空調工事等の工程について／2016年度世田谷区民の図書館利用について／2015年度第4回図書館員会の開催について／新入生オリエンテーションの改訂について／雑誌室の業務委託について／ビブリオバトルの実施について／五大学図書館の文献複写に関する申し合わせについて

■第16回■ 2016年3月9日（水）

2016年度世田谷区民の図書館利用について／新刊雑誌のカバーについて／五大学図書館の文献複写に関する申し合わせについて／『SEIJO 放課後シアター』について／課長・課長補佐会について／情報サービス課の欠員補充について／私立大学図書館協会東地区部会役員校について

### 3 課長・課長補佐会報告

#### ■第1回■ 2015年4月30日（木）

【全般】2015年度の図書館地区隊について／2015年度の臨時開館日について（オーブンキャンパスを含めた出勤者について）／未来募金の顕彰制度について／2016年度予算について／四大学図書館相互利用・世田谷6大学コンソーシアムについて／2課体制の英語表記について／私大図協関係について／第1回図書館委員会について／自己点検報告書に基づく大学基準協会による視察について

【情報管理課】雑誌室設置のスキナーの利用について／書店の発注システム導入とAmazonの復活について／学部との打合せ会について／「図書記号規程」改訂版の施行について／成城大学リポジトリについて／調査ものについて

【情報サービス課】4月からのサービスの変更点について／業務委託マニュアルの整備について／利用規則関係の見直しについて（グループ学習室、プレゼンテーションルーム等）／レファレンスからの要望について／「利用者の声」について／「ICカード検討委員会」について

【資料選定委員会】委員会報告／リクエスト制度について

【システム委員会】委員会報告／システム（ネットワーク・サーバ管理）担当者について

【企画広報委員会】委員会報告／図書館HPについて／大学HPについて／図書館暦について／展示について

【図書館活用法実施委員会】委員会報告

【図書館ガイダンス委員会】委員会報告

【スチューデントアシスタントワーキンググループ】委員会報告／ライブラリーサポーターの活動について／他の委員会との連携について／今年度の選書ツアーについて／学内インターンシップについて

【配架検討ワーキンググループ】委員会報告／貴重書室の再配架計画について／新刊雑誌コーナーへの追加資料について

#### ■第2回■ 2015年5月29日（金）

【全般】館内掲示板と展覧会等のチラシ置き場の利用について／1F設置大型モニタ2台の利用方法と管理・管轄について／館内掲示板と展覧会等のチラシ置き場の利用について／法学部指宿先生より提案のあったハワイ大学ライブラリアンによる講演会について／五大学図書館懇談会について／世田谷6大学コンソーシアムについて／第3回図書館委員会の開催時期について

【情報管理課】雑誌室設置のスキナーの利用について／雑誌室で発生するマイクロ複写料金について／書店の発注システムとAmazonについて／館内で発生した修理を大学事務局管理課に依頼する体制について／ガイドブックコーナーについて／雑誌の保存期間変更（短期保存へ）について

【情報サービス課】12月の臨時開館について／未来募金の顕彰制度について／貸倉庫への資料預入について

【システム委員会】システムリプレイスのスケジュールについて／カレンダーの編集につ



いて／E-Cats の設定の変更等について

【図書館ガイダンス委員会】「レポート作成ガイダンス（仮）」の実施について

【企画広報委員会】HPの編集権限と公開のルールについて／HP制作会社の業務精算について

【AVゾーン改修検討ワーキンググループ】委員会報告

【スチューデントアシスタントワーキンググループ】ライブラリーサポーターの展示について／選書ツアーについて

### ■第3回■ 2015年6月30日（火）、7月1日（水）

【全般】館内3箇所（メイン・AV・Ref.）にある看板について／AVゾーン吹き抜け上部の照明（かさ）清掃について／B1F AVマイクロ保存室・マイクロ資料の保存状態について／2016年度予算について／中期計画について／今後の仕事の進め方について／静寂ルーム（サイレントエリア）の創設について／AVゾーン改修案について（改修後の運用について）

【情報管理課】洋雑誌のリニューアルに関するお知らせについて／学部との残高照合について／雑誌室委託化の進捗状況について／3号館B1F書庫の配架状況について／整理品質の向上について／中国書の登録番号記載位置について

【情報サービス課】試験期のミノルタコピー機サポートについて／委託スタッフへの研修について／B2F・旧館・プレハブの配架について／学習用PCの追加について／後期の預入について／文学研究科からの資料返却について／夏季受験生の図書館利用について／修論閲覧許諾について／グループ学習室・プレゼンテーションルームの利用について／ILL料金について

【図書館ガイダンス委員会】Microsoft Word ガイダンスの実施について

【スチューデントアシスタントワーキンググループ】世田谷6大学コンソーシアムについて／インターンシップについて／ライブラリーサポーターの活動について

【配架検討ワーキンググループ】新刊雑誌コーナーに配架する新たな雑誌について

【システム委員会】システムのリプレイスについて／機関リポジトリについて

### ■第4回■ 2015年7月31日（金）

【全般】8月7日の公開研究会「カメハメハ」について／館内放送について／9月19日の父母懇談会について／9月28－29日の大学基準協会による実地視察について／10月1日の防災訓練について／私図協関係（11月4・5日開催の研修会）について／中期計画について

【情報管理課】夏季休暇中の体制について／雑誌業務委託について／整理業務について／修論・博論の受入・整理について

【情報サービス課】グループ学習室・プレゼンテーションルームの利用方法について／入館カード一本化について／静寂ルームについて／学部生のB3F書庫入庫について（教員からの要望）／マナーについて

【図書館ガイダンス委員会】後期のガイダンス計画について／中期計画の学修支援体制について

- 【スチューデントアシスタントワーキンググループ】学内インターンシップについて／ライブラリーサポーターの活動について
- 【配架検討ワーキンググループ】貴重書室再配架の進捗状況について／経済研究所所蔵貴重資料（高垣文庫）の保管依頼（図書館貴重書室）について
- 【システム委員会】ディスカバリーの導入について／E-cats リプレイスに向けた NEC との打合せ状況について／一太郎・AL-mail の使用について／ネットワークの統合について
- 【資料選定委員会】リクエスト基準について／「新刊雑誌コーナー」への新規タイトルについて
- 【企画広報委員会】8月の高校生利用に向けた展示について／11月開催の『怪奇鳥獣図巻展』について／大学HP（図書館ページ）について／第2回『SEIJO 放課後シアター』について／講演会について
- 【図書館活用法実施委員会】来年度の実施について
- 【AVゾーン改修検討ワーキンググループ】今後のスケジュールについて

■第5回■ 2015年10月28日（水）

- 【全般】大学基準協会実地視察準備について／雑誌業務委託について／常務との面談について／監査法人への回答について／図書館委員会について／2016年度予算について／五大学図書館懇談会について

■第6回■ 2015年12月3日（木）

- 【全般】大学共通図書費について／文庫・就活本・シラバスの配架について／開架室資料配架について／今後のイベント告知方法について／来年度の委員会・ワーキンググループについて／来年度の目標について／今年度予算の消化について／2014年度図書館年報（第16号）編集担当について
- 【情報管理課】洋雑誌リニューアルについて／雑誌室業務について／和図書の整理方針について／職員の産休について／経済研究所の遡及について
- 【情報サービス課】修論許諾に関する申し合わせについて／空調改修期間中（トイレ改修を含む）のサービス内容の告知案と館内業務について／ILLに関する教員からの要望について／今年度の貸倉庫預入終了と次年度の預入予定について／後期試験期に向けたマナーの向上と盗難防止対策について／貴重書室内・資料再配架後の管理について
- 【資料選定委員会】リクエスト基準について
- 【システム委員会】ネットワーク統合の件と予算確定後からのスケジュールや作業分担について／図書館システムリプレイスについて
- 【企画広報委員会】今年度中の活動について／来年度に向けた計画について／電子データの公開について／委員長について
- 【図書館活用法実施委員会】2015年度の総括と2016年度の実施予定について
- 【図書館ガイダンス委員会】昼休みを使ったガイダンス（後期）について／就職活動に向けたガイダンスについて／新入生オリエンテーション・ガイダンスについて／ライティングアシスタントについて
- 【スチューデントアシスタントワーキンググループ】今年度中の活動について／来年度に

向けた計画について

【配架検討ワーキンググループ】貴重書室内の再配置と経済研究所高垣文庫の資料移動について

【その他】2016年度新入生ガイダンススケジュールについて／雑誌の表紙を保護するビニールカバーの装着について／本に貼ったり剥がしたりできるシールについて／教育イノベーションセンターとの学修支援に関する連携について／アクティブラーニングに関する研究会をMNCと共催する案について／今後のスケジュール確認

■第7回■ 2016年2月3日（水）

【全般】空調・トイレ改修工事について／今年度予算の消化状況について／第4回図書館委員会について／今年度の間接経費による資料購入について／2016（H28）年度事業計画について／機関決定のプロセスについて

【情報管理課】職員の産休中の体制と業務分担の変更について／経済研究所の遡及について／機関リポジトリについて

【情報サービス課】2月～3月の業務について／オンデマンドプリンタの入れ替えについて／2016年度の貸倉庫預け入れについて／開館時間を早める件と2016年度の臨時開館・開館時間延長について／専任教員の年度末更新作業について

【資料選定委員会】Webリクエストへの一本化について

■第8回■ 2016年3月4日（金）

【全般】改修工事について／オンラインリクエストについて／コーナー化について／他部署からの業務依頼について／新入生図書館ガイダンスについて／私図協研究分科会の参加について／2016年度の委員会について

【情報管理課】3号館B1F書庫の移動作業について／保存期間を変更した雑誌の廃棄作業について

【情報サービス課】世田谷区民の応募状況について

【その他】利用出来ない資料がOPACに表示されている場合の対応について

■第9回■ 2016年3月28日（月）

【全般】4月以降の改修工事について／4月からの職員について／委員会メンバーについて／4月ガイダンス反省会について

【情報管理課】マンガ資料について／各種資料の流し方（コーナー他）について／装備について／再整理について／研究室や資料室・教員から返却された雑誌の取り扱い（除籍廃棄）について

【情報サービス課】世田谷区民の応募状況について／委託業者による館内研修について／ILL（学生）の無料化について／中高生向けの利用証の更新について／聴講生・科目等履修生の利用について／ILL貸出用（雑誌室担当者使用）貸出カードについて／古い雑誌の取扱いについて

【企画広報委員会】トートバッグの納品について

【ガイダンス委員会】新入生図書館ガイダンスの説明会について／図書館ガイダンス期間

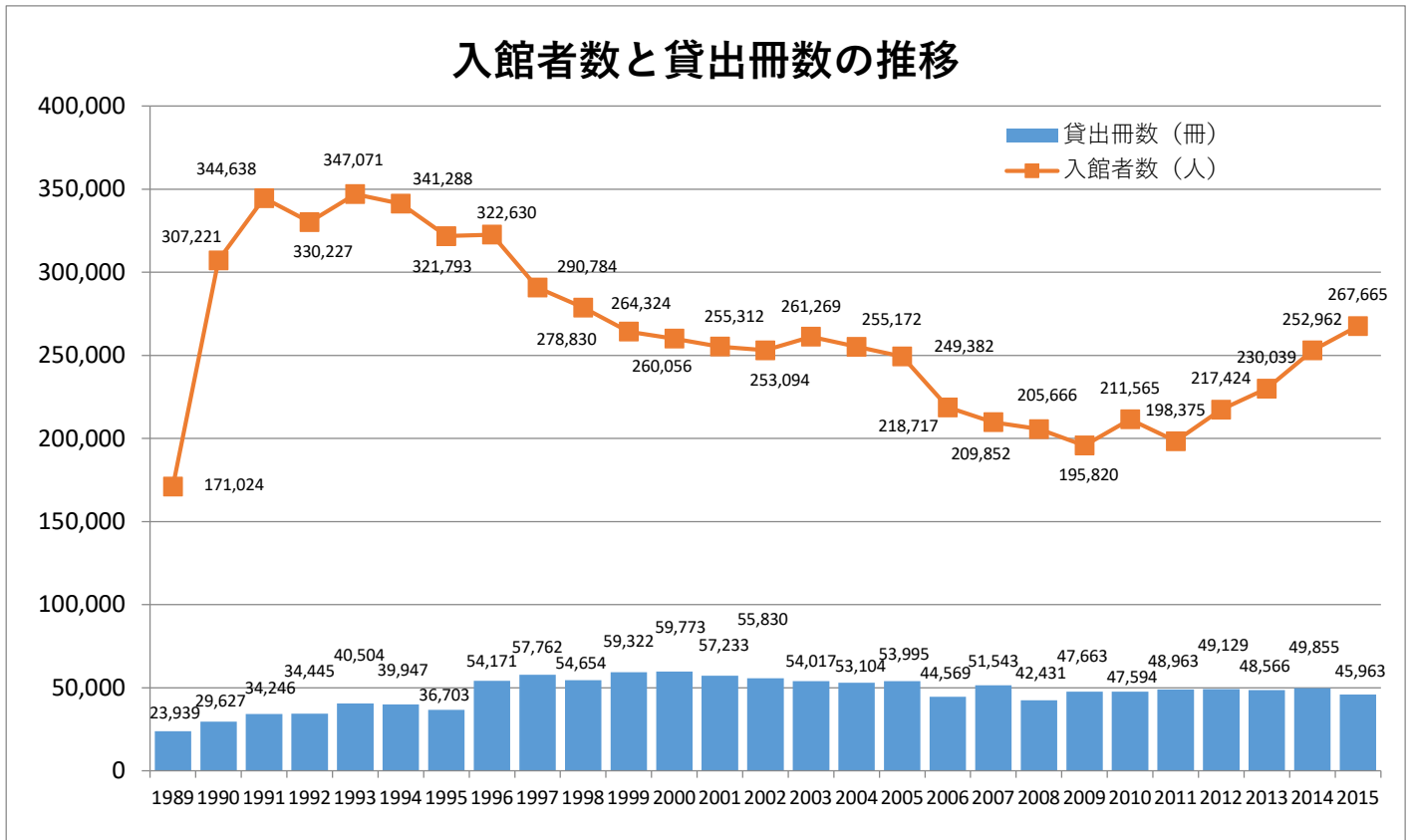
中のライブラリーサポーターへの対応について

【その他】学長退任慰労会について／館内メーリングリストの管理について／ライブラリーサポーター反省会について／新任教員研修会について／H P の卒論返還記事について／2014年度図書館年報について

### Ⅲ 2015年度の図書館年次統計

#### 1 現況

##### (1) 利用状況



##### (2) 所蔵資料数

○図書	739,596 冊	(2015 年度増加数	10,747 冊、除籍数	317 冊)
○雑誌 (B N、合冊製本)	143,513 冊	(2015 年度増加数	2,139 冊、除籍数	92 冊)
○A V 資料		(2015 年度増加数		
C D	23,092 枚	(2015 年度増加数	282 枚、除籍数	0 枚)
L D	5,062 枚	(2015 年度増加数	0 枚、除籍数	0 枚)
ビデオ	6,768 巻	(2015 年度増加数	0 巻、除籍数	0 巻)
DVD/Blu-ray	14,666 枚	(2015 年度増加数	560 枚、除籍数	1 枚)
レコード	7,988 枚	(2015 年度増加数	0 枚、除籍数	0 枚)
カセット	1,534 本	(2015 年度増加数	0 本、除籍数	0 本)
○特殊資料		(2015 年度増加数		
CD (DVD) -ROM 等	2,675 点	(2015 年度増加数	55 点、除籍数	7 点)
マイクロ資料	29,180 点	(2015 年度増加数	70 点、除籍数	0 点)

※図書は電子ブックを含む

## (3) 電子情報資源種類数

(2015)

	和	洋	合計
電子ジャーナル (タイトル数)	628	14,521	15,149
電子ブック (タイトル数)	0	195	195
データベース (パッケージ数)	21	17	38

## (4) リポジトリ登録件数

(2015)

	件数
紀要論文	3,301
研究報告書	69
学位論文(博士)	4
図書館年報	2
合計	3,376

## (5) 雑誌所蔵種類数

(2015)

	和雑誌	洋雑誌	合計
雑誌	3,563	2,395	5,958
大学紀要	2,862	42	2,904
新聞	4	5	9
合計	6,429	2,442	8,871

## (6) 継続受入雑誌種類数

(2015)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
雑誌	647	239	886	938	157	1,095	1,981
大学紀要	2	1,130	1,132	0	22	22	1,154
新聞	12	2	14	7	0	7	21
合計	661	1,371	2,032	945	179	1,124	3,156

## (7) AV・マイクロ累積タイトル数

(2015)

媒体	2014年度末 タイトル数	2015年度 増加分	合計
マイクロフィルム	324	1	325
カセットテープ	568	0	568
ビデオテープ	2,377	0	2,377
CD	21,618	135	22,196
LD		0	
DVD		356	
Blu-ray		87	
レコード	6,899	0	6,899
映画フィルム	119	0	119
スライド	66	0	66
HDD	8	0	8
フラッシュメモリー	0	0	0
CD-ROM	579	10	594
DVD-ROM		5	
フロッピー・磁気テープ	24	0	24
合計	32,582	594	33,176

\*継続分を除く、新規タイトル数の累積点数。

\*タイトル数については、集計開始時より媒体合算のものもあるため、過年度分の増加分合計点数についても、そのまま媒体合算集計とする。

## 2 受入報告

### (1) 図書受入報告

#### A. 受入 (2015)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	1,587	21,480,431	1,672	43,394,788	3,259	64,875,219
資産外図書	1,512	8,963,330	516	7,429,822	2,028	16,393,152
学習図書	4,230	12,657,048	164	1,529,829	4,394	14,186,877
私大助成	0	0	0	0	0	0
間接科研費 <sup>*1</sup>	-	-	-	-	-	-
寄贈	1,010	1,010,000	33	66,000	1,043	1,076,000
編入	20	36,480	3	4,760	23	41,240
合計	8,359	44,147,289	2,388	52,425,199	10,747	96,572,488

※1 2015年度間接科研費は図書へ追加配当 (洋書70点 700,000円)

#### B. 除籍 (2015)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	98	423,005	95	699,312	193	1,122,317
資産外図書	12	-	63	-	75	-
学習図書	32	-	1	-	33	-
私大助成	0	0	0	0	0	0
寄贈	12	12,000	3	6,000	15	18,000
編入	1	-	0	-	1	-
合計	155	435,005	162	705,312	317	1,140,317

※ 2010年度までは、資産外図書・学習図書・編入の金額を表示していたが、冊数に対応する金額ではないため、2011年度より金額欄を - と表示する。

## (2) 雑誌受入報告

### A. 受入

(2015)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	153	3,432,353	45	2,177,478	198	5,609,831
製本編入	976	1,810,113	965	1,800,820	1,941	3,610,933
私大助成	0	0	0	0	0	0
合 計	1,129	5,242,466	1,010	3,978,298	2,139	9,220,764

購入〔資産外〕	—	17,633,764	—	85,304,715	—	102,938,479
その他の編入（発見）	0	—	0	—	0	—
その他の編入（移管）	0	—	0	—	0	—
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	—	0	—	0	—

### B. 除籍

(2015)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	58	186,000	0	0	58	186,000
製本編入(H.4以降)	34	59,250	0	0	34	59,250
私大助成	0	0	0	0	0	0
小 計	92	245,250	0	0	92	245,250

製本編入 (H.3以前)	38	—	0	—	38	—
その他の編入（発見）	0	—	0	—	0	—
その他の編入（移管）	0	—	0	—	0	—
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
購入〔資産外〕	0	0	0	0	0	0
寄贈	37	—	0	—	37	—

は資産報告をしているもの

※ 2004年度までは図書からの移管編入は除籍申請を行っていないため、除籍の移管編入の金額には入力。  
2005年度より除籍して移管編入雑誌として受け入れるため金額欄は - と表示する。



(3) AV・マイクロ資料受入報告

A. 受入

(2015)

媒体		資産		資産外		学習図書		寄贈	編入	合 計
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	数量	
マイクロリール		70	1,006,560	0	0	0	0	0	0	70
マイクロフィッシュ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロリール	間接科研費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイクロリール	私大助成	0	0							0
マイクロフィッシュ	私大助成	0	0							0
小計		70	1,006,560	0	0	0	0	0	0	70
CD-ROM	私大助成	0	0							0
DVD-ROM	私大助成	0	0							0
HDD	私大助成	0	0							0
CD		0	0	57	76,866	225	481,809	0	0	282
カセット		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
LD		0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD		0	0	100	1,533,693	349	4,907,405	16	0	465
Blu-ray		0	0	3	13,413	92	573,579	0	0	95
レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM		0	0	32	1,118,655	0	0	8	0	40
DVD-ROM		6	89,100	4	441,288	0	0	5	0	15
小計		6	89,100	196	3,183,915	666	5,962,793	29	0	897
合計		76	1,095,660	196	3,183,915	666	5,962,793	29	0	967

B. 除籍

(2015)

媒 体	資産外		学習図書		寄贈		合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
DVD	0	0	1	2,362	0	0	1	2,362
カセット	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM	4	160,700	2	46,140	1	0	7	206,840
合計	4	160,700	3	48,502	1	0	8	209,202

※ 除籍した中で費目が資産外と学習図書のCD-ROMは、遡及の折、図書の附属資料に移管するために除籍した。

(4) 学習図書年度別受入一覧

(2015)

年度	和書 (冊数)	洋書 (冊数)	図書合計	雑誌 (冊数)	AV資料 (点数)	マイクロ資料 (リール・箱)
1983	4,222	40	4,262	23	6	0
1984	6,220	226	6,446	28	10	578
1985	6,814	129	6,943	44	190	882
1986	7,170	273	7,443	95	332	851
1987	6,499	857	7,356	48	333	792
1988	5,298	134	5,432	0	505	717
1989	4,839	219	5,058	0	607	992
1990	4,811	249	5,060	0	1,046	162
1991	5,003	289	5,292	0	1,418	217
1992	4,645	221	4,866	0	1,775	313
1993	4,971	233	5,204	0	1,318	508
1994	4,705	179	4,884	0	1,015	199
1995	4,473	149	4,622	0	1,277	130
1996	5,515	120	5,635	0	1,424	57
1997	5,247	204	5,451	0	1,237	64
1998	4,832	116	4,948	0	1,472	81
1999	4,953	192	5,145	0	1,613	70
2000	4,543	185	4,728	0	1,705	86
2001	4,387	153	4,540	0	1,882	140
2002	4,984	184	5,168	0	1,685	136
2003	4,623	248	4,871	0	2,017	72
2004	4,049	329	4,378	0	1,988	81
2005	3,843	649	4,492	0	2,469	91
2006	3,907	306	4,213	0	1,892	129
2007	4,497	152	4,649	0	1,159	347
2008	4,481	270	4,751	0	1,567	193
2009	4,982	223	5,205	0	1,648	131
2010	5,089	216	5,305	0	1,344	94
2011	5,183	158	5,341	0	1,136	72
2012	5,275	595	5,870	0	950	69
2013	4,300	1,229	5,529	0	747	74
2014	4,143	814	4,957	0	751	9
2015	4,230	164	4,394	0	666	0
合計	162,733	9,705	172,438	238	39,184	8,337

※ 毎年全学生から学習図書整備費として特別に徴収された資金により、学生の勉学に必要と思われる資料を選定し、購入している。

### 3 整理業務統計

#### (1) 図書整理冊数

(2015)

	和 書	洋 書	小 計
新規	8,423	2,760	11,183
再整理	336	172	508
遡及（内部）	3	720	723
遡及（外注）	0	0	0
合計	8,762	3,652	12,414

#### (2) 修士論文整理冊数

(2015)

	専 攻	件 数	冊 数
経済学研究科	経済学／経営学	10	10
文学研究科	国文学	4	4
	英文学	0	0
	日本常民文化	6	6
	美学・美術史	4	4
	コミュニケーション学	1	1
	ヨーロッパ文化	4	4
法学研究科	法律学	1	1
社会イノベーション研	社会イノベーション学	0	0
合計		30	30

#### (3) 博士論文整理冊数

(2015)

	今年度		累 計	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
経済学	0	0	5	5
文学	2	2	35	43
法学	0	0	8	8
社会イノベーション学	2	2	2	2
合計	4	4	50	58

#### (4) AV・マイクロ点数

(2015)

	映像資料	録音資料	電子資料	マイクロ資料	合 計
新規	423	232	58	34	747
遡及（内部）	32	1,270	373	13	1,688
合計	455	1,502	431	47	2,435

映像資料 : DVD, Blu-ray, LD, ビデオ, スライド, フィルム

録音資料 : CD, カセット, レコード

電子資料 : DVD-ROM, CD-ROM

マイクロ資料 : マイクロフィッシュ, マイクロフィルム

#### 4 運用業務統計

##### (1) 入館者統計

(2015)

	開館 日数	学 生	教 職 員	中 学 生	高 校 生	学習院		成 蹊		武 蔵		国士館		駒澤		昭和女子		東京農業		東京都市		学 外 者	合 計
						教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生		
4 月	25	26,540	847	0	13	1	3	0	1	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	363	27,774
5 月	23	24,837	989	2	69	0	4	0	6	0	1	1	2	0	5	0	3	0	0	0	0	618	26,537
6 月	26	29,133	1,038	3	39	0	1	0	3	1	2	0	4	2	7	0	5	0	2	0	3	800	31,043
7 月	29	47,278	1,041	0	0	0	2	0	1	0	9	0	5	0	7	0	1	0	1	0	3	532	48,880
8 月	16	2,170	309	0	14	0	4	1	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7	250	2,760
9 月	25	11,651	615	1	9	3	3	0	1	1	3	0	2	0	5	1	6	0	0	0	2	272	12,575
10月	27	25,615	1,059	0	36	0	13	0	0	0	1	1	3	1	3	0	2	0	0	0	1	611	27,346
11月	21	24,279	705	2	21	0	7	3	0	1	4	0	5	2	0	0	3	0	0	0	4	535	25,571
12月	23	26,675	709	0	19	1	11	1	6	0	5	0	4	0	5	0	2	0	2	0	0	373	27,813
1 月	22	30,308	550	0	1	0	3	0	1	0	2	1	8	1	1	0	4	0	0	0	0	168	31,048
2 月	20	2,397	328	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	155	2,885
3 月	25	2,771	416	0	2	1	2	0	4	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	231	3,433
合 計	282	253,654	8,606	8	223	7	54	5	24	3	29	3	37	8	42	1	26	0	6	0	21	4,908	267,665

(2) 月別図書貸出統計

(2015)

図書館配架区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開架室	3F	1,183	1,234	1,588	2,669	445	1,189	1,952	2,169	2,239	1,795	347	215	17,025
	3F大型本	3	4	7	6	0	2	6	8	7	1	0	1	45
	3Fガイドブック	96	99	81	98	32	64	126	130	145	138	65	36	1,110
	2F	1,401	1,711	2,009	2,759	574	1,330	2,147	2,433	2,312	2,113	458	368	19,615
	岩波文庫(2F)	86	97	115	115	19	45	80	86	93	105	14	7	862
	岩波新書(2F)	33	92	50	117	14	34	51	43	48	60	12	1	555
	文庫クセジュ(2F)	4	10	10	11	3	7	6	17	10	11	2	0	91
	2F大型本	12	19	15	25	4	14	23	17	33	14	3	1	180
	シラバスコーナー(2F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	文庫コーナー(1F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	新書コーナー(1F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	B2F	32	26	52	18	13	20	52	38	45	27	24	14	361
	B2F英語多読コーナー	262	236	145	176	14	117	163	106	69	63	3	66	1,420
閉架室	貴重書室	0	18	0	18	0	0	2	0	23	53	2	0	116
	B3F	250	342	479	443	134	280	449	472	501	373	315	156	4,194
	B3F大型本	4	10	12	0	3	4	4	8	20	4	2	5	76
	B3F貴重書	0	0	0	19	0	2	0	0	47	0	0	0	68
	旧館1層	2	6	13	6	9	14	17	11	13	8	4	9	112
	旧館1層大型本	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	旧館3層	3	1	1	0	0	0	2	4	2	4	0	0	17
	旧館5層	1	1	7	3	0	4	4	0	1	2	1	3	27
	旧館6層	0	1	2	0	0	0	1	1	2	2	1	0	10
	貸倉庫	2	6	0	2	5	10	2	11	14	4	3	5	64
合 計		3,374	3,913	4,586	6,485	1,269	3,136	5,089	5,554	5,624	4,777	1,256	900	45,963

※ 集計単位は冊数

(3) 分野別図書貸出統計

(2015)

		図書資料分野区分											計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学/工業	産業	芸術	語学	文学	その他	
学 生	学部生	747	2,460	3,216	11,128	1,156	853	1,530	4,428	2,521	5,221	0	33,260
	大学院生	91	295	451	1,235	113	115	157	569	342	598	0	3,966
	非正規生	9	28	43	163	16	21	25	45	44	61	0	455
教 職 員	大学専任教員	94	220	290	1,028	97	98	144	425	237	535	0	3,168
	大学非常勤教員	35	114	184	543	49	50	72	199	160	250	0	1,656
	その他教職員	77	167	237	761	81	69	131	320	234	389	0	2,466
四 大 学	学習院大学	1	1	3	10	1	0	1	1	1	6	0	25
	成蹊大学	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	武蔵大学	0	3	2	4	1	0	0	1	0	1	0	12
6 大 学	国士舘大学	0	0	2	0	0	0	0	3	0	1	0	6
	駒澤大学	0	6	2	11	0	0	3	0	0	1	0	23
	昭和女子大学	0	2	0	3	0	0	0	0	4	3	0	12
	東京農業大学	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4
	東京都市大学	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	5
そ の 他	卒業生	13	23	28	91	4	11	19	57	13	33	0	292
	大学院修了者	3	7	20	64	11	7	11	24	34	29	0	210
	コミュニティーカ	8	13	30	56	5	9	7	28	19	37	0	212
	世田谷区民	5	12	25	52	3	6	8	20	13	27	0	171
	学園中学・高校生	0	1	1	4	1	0	0	0	4	3	0	14
小計		1,083	3,353	4,539	15,157	1,538	1,239	2,108	6,121	3,627	7,198	0	45,963
比率		2.4%	7.3%	9.9%	33.0%	3.3%	2.7%	4.6%	13.3%	7.9%	15.7%	0.0%	100.0%

※ 集計単位は冊数

(4) ベストリーダー 【年間貸出回数 上位30位まで】

(2015)

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
1	サウンドとメディアの文化資源学：境界線上の音楽	渡辺裕著	春秋社	30
2	伊勢物語	渡辺実校注	新潮社	25
3	日本書紀 2 (新編日本古典文学全集；2-4)	小島憲之 [ほか] 校注・訳	小学館	23
4	現代独和辞典	ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実編	三修社	21
5	新修民事訴訟法体系	兼子一著	酒井書店	20
6	新スタンダード仏和辞典	鈴木信太郎 [ほか] 著	大修館書店	18
6	昔話の魔力	ブルーノ・ベッテルハイム [著]；波多野完治, 乾侑美子訳	評論社	18
8	条解民事訴訟法	兼子一原著；松浦馨 [ほか] 著	弘文堂	17
8	注釈篇；『ガリヴァー旅行記』徹底注釈	スウィフト [著]；富山太佳夫訳	岩波書店	17
8	下；日本書紀：全現代語訳 (講談社学術文庫；[833-834])	宇治谷孟 [訳]	講談社	17
8	英和辞典 (講談社学術文庫；[365])	川本茂雄編集主幹	講談社	17
12	フランスのワーク・ライフ・バランス：男女平等政策入門：EU、フランスから日本へ	石田久仁子 [ほか] 編著	パド・ウィメンズ・オフィス	16
12	くずし字用例辞典	児玉幸多編	東京堂出版	16
12	近代日本と東南アジア：南進の「衝撃」と「遺産」	後藤乾一著	岩波書店	16
12	岩波新英和辞典	中島文雄, 忍足欣四郎編	岩波書店	16
12	インタビュー術! (講談社現代新書；1627)	永江朗著	講談社	16
12	上；白鯨 (岩波文庫；赤(32)-308-1)	メルヴィル作；八木敏雄訳	岩波書店	16
12	中；白鯨 (岩波文庫；赤(32)-308-2)	メルヴィル作；八木敏雄訳	岩波書店	16
12	下；白鯨 (岩波文庫；赤(32)-308-3)	メルヴィル作；八木敏雄訳	岩波書店	16
20	嫌われる勇氣：自己啓発の源流「アドラー」の教え	岸見一郎, 古賀史健著	ダイヤモンド社	15
21	ソシユールを読む (講談社学術文庫；[2120])	丸山圭三郎著	講談社	14
21	イニシエーション・ラブ (文春文庫；[い-66-1])	乾くるみ著	文藝春秋	14
21	Cambridge IELTS 9：authentic examination papers from Cambridge ESOL		Cambridge University Press	14
21	新しいインド近代史：下からの歴史の試み	スミット・サルカール著；長崎暢子 [ほか] 訳	研文出版	14
21	日本書紀 1 (新編日本古典文学全集；2-4).	小島憲之 [ほか] 校注・訳	小学館	14
21	初版グリム童話集 1	ヤーコフ・グリム, ヴィルヘルム・グリム [著]；吉原高志, 吉原素子訳	白水社	14
21	方法としてのフィールドノート：現地取材から物語作成まで	R・エマーソン [ほか] 著；佐藤郁哉 [ほか] 訳	新曜社	14
21	ディズニーの魔法 (新潮新書；044)	有馬哲夫著	新潮社	14
29	生活文化史 (新体系日本史；14)	小泉和子編	山川出版社	13
29	赤い指 (講談社文庫；[ひ-17-26])	東野圭吾 [著]	講談社	13
29	金持ち父さん貧乏父さん：アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学	ロバート・キヨサキ著；白根美保子訳	筑摩書房	13

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
29	金持ち父さん貧乏父さん：アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学	ロバート・キヨサキ著；白根美保子訳	筑摩書房	13
29	文書提出命令の理論と実務	山本和彦 [ほか] 編	民事法研究会	13
29	民事手続の現代的使命：伊藤眞先生古稀祝賀論文集	高橋宏志 [ほか] 編	有斐閣	13
29	古事記（新編日本古典文学全集；1）	山口佳紀, 神野志隆光校注・訳	小学館	13
29	表情分析入門：表情に隠された意味をさぐる	P.エクマン, W.V.フリーセン著；工藤力訳編	誠信書房	13
29	メディアと流行の心理	中島純一著	金子書房	13
29	マス・コミュニケーション効果研究の展開	田崎篤郎, 児島和人編著	北樹出版	13
29	ライフヒストリーを学ぶ人のために	谷富夫編	世界思想社	13
29	移民の社会的統合と排除：問われるフランス的平等	宮島喬編	東京大学出版会	13



(5) 閉架書庫内図書月別利用統計

(2015)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合 計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	45	61	0	0	1	1	0	0	8	18	54	80
5月	59	90	0	0	1	8	0	0	6	10	66	108
6月	64	110	0	0	3	11	0	0	8	8	75	129
7月	63	107	2	3	4	8	0	0	4	5	73	123
8月	10	19	1	1	0	0	1	10	5	7	17	37
9月	34	60	1	0	4	5	0	0	4	11	43	76
10月	71	111	0	0	1	6	2	3	7	11	81	131
11月	108	224	1	3	0	0	0	0	5	10	114	237
12月	100	167	1	1	1	2	0	0	12	22	114	192
1月	50	70	0	0	0	0	0	0	2	2	52	72
2月	11	23	0	0	0	0	0	0	2	4	13	27
3月	6	11	0	0	2	4	0	0	6	12	14	27
合 計	621	1,053	6	8	17	45	3	13	69	120	716	1,239

※閉架書庫とはB 3 F 書庫・旧館書庫である。

※教職員・大学院生及びガイダンスを受けた学部3、4年生はB 3 F 書庫への入庫利用が可能。

(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計

(2015)

	学生（含院生）		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合 計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	10	10	1	1	10	10	0	0	4	4	25	25
5月	26	33	1	1	2	3	0	0	12	14	41	51
6月	27	28	0	0	1	1	0	0	10	11	38	40
7月	13	13	2	2	4	4	0	0	6	9	25	28
8月	6	7	3	4	0	0	0	0	3	5	12	16
9月	34	34	3	10	0	0	0	0	7	7	44	51
10月	19	19	1	1	2	2	0	0	1	4	23	26
11月	32	36	1	1	3	3	0	0	3	4	39	44
12月	30	38	0	0	1	1	0	0	7	7	38	46
1月	6	6	0	0	1	2	0	0	5	5	12	13
2月	5	5	1	1	4	4	0	0	1	12	11	22
3月	2	2	2	2	0	0	0	0	2	2	6	6
合 計	210	231	15	23	28	30	0	0	61	84	314	368

※人数＝雑誌閲覧請求者数。

※総数＝雑誌閲覧請求冊数。

※閉架書庫とはB 3 F 書庫・旧館書庫である。

※教職員・大学院生及びガイダンスを受けた学部3、4年生はB 3 F 書庫への入庫利用が可能。

(7) 貸倉庫預入資料利用統計

(2015)

資料種別		2015年度 預入箱数	2015年度 戻入箱数	2015年度末 預入箱数	2015年度 利用請求冊数
図書	和 書	16 箱	2 箱	2,760 箱	330 冊
	洋 書	984 箱	0 箱	6,254 箱	280 冊
雑誌	Times (＊)	0 冊	0 冊	578 冊	0 冊
	その他	0 箱	0 箱	421 箱	0 冊
A V 資料		0 箱	0 箱	301 箱	1 冊
学園関係資料		0 箱	0 箱	90 箱	0 冊
合 計		1,000 箱	2 箱	10,404 箱	611 冊

※記号(＊)はTimes(オリジナルの大型本)で預入単位は冊数、その他は箱単位である。

※貸倉庫への預入開始は1996年度からである。

※業務利用は除く。

(8) 研究室別貸出図書統計

(2015)

研究室名		2015年度末 貸出冊数		
		和 書	洋 書	計
大学院	法 学	7	0	7
	国 文	3,791	5	3,796
	英 文	12	638	650
	日本常民文化	1,419	46	1,465
	美学美術史	424	605	1,029
	コミュニケーション	77	2,861	2,938
	ヨーロッパ文化	16	559	575
	社会イノベーション	0	0	0
	計	5,746	4,714	10,460
資料室等	経済共用研究室	1,686	815	2,501
	文芸共用研究室	14,468	4,132	18,600
	文芸学部資料室	498	10	508
	法学資料室	5,625	16,451	22,076
	法学部専任教員室	16	4	20
	社イノ研究事務室	62	91	153
	体 育 科	169	13	182
	共通教育研究センター	641	10	651
	計	23,165	21,526	44,691
研究所	民俗学研究所	19	0	19
	経済研究所	2,858	7,196	10,054
	教育研究所	740	686	1,426
	計	3,617	7,882	11,499
総 計		32,528	34,122	66,650

※2010年度より、E-Catsの配架先から算出。

## (9) 研究室別貸出雑誌統計

(2015)

研究室名		2015年度末 カレント雑誌貸出冊数				2015年度末 製本雑誌貸出冊数			
		和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計	和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計
大学院	法 学	2,526	0	0	2,526	1	0	0	1
	国 文	8	0	0	8	0	0	0	0
	英 文	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本常民文化	20	434	0	454	0	0	0	0
	美学美術史	0	17	0	17	0	0	0	0
	コミュニケーション	0	2	0	2	0	0	0	0
	ヨーロッパ文化	26	106	40	172	0	14	0	14
	社会イノベーション	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,580	559	40	3,179	1	14	0	15
資料室等	経済共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸学部資料室	11	0	0	11	0	0	0	0
	法学資料室	9,959	23,999	4,489	38,447	7,017	5,651	6,066	18,734
	法学部専任教員室	41	17	0	58	0	0	0	0
	社イノ研究事務室	5	0	0	5	0	0	0	0
	体 育 科	680	84	22	786	0	0	0	0
	共通教育研究センター	3	0	0	3	0	0	0	0
	計	10,699	24,100	4,511	39,310	7,017	5,651	6,066	18,734
研究所	民俗学研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済研究所	0	49	0	49	0	0	0	0
	教育研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	49	0	49	0	0	0	0
総 計		13,279	24,708	4,551	42,538	7,018	5,665	6,066	18,749

※2010年度より、E-Catsの配架先から算出

( 1 0 ) 施設利用統計

(2015)

	研究個室	グループ学習室	プレゼンテーションルーム
4月	140	39	7
5月	142	49	12
6月	177	67	16
7月	165	139	10
8月	36	8	3
9月	69	36	11
10月	137	59	6
11月	86	77	4
12月	118	77	9
1月	77	126	13
2月	8	3	0
3月	2	0	0
合計	1, 157	680	91

※研究個室は2Fに12室、3Fに10室ある。利用対象は大学院生と教職員。

※グループ学習室はB1Fに4室あるうち、利用申し込みが必要な3室の統計。

※プレゼンテーションルームは2F、3Fそれぞれ1室ある。

( 1 1 ) 貴重書室利用統計

(2015)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	0	3	1	4	0	1	3	3	3	0	0	0	18 件

(12) 3号館雑誌室・書庫利用統計

(2015)

	開室日数	入室者数	日平均入室者数	出納件数
4月	25	942	38	8
5月	23	982	43	23
6月	26	1,142	44	7
7月	27	1,883	70	13
8月	7	49	7	10 ※1
9月	18	622	35	12
10月	27	1,250	46	24
11月	21	1,399	67	4
12月	21	1,882	90	28 ※2
1月	19	1,517	80	9
2月	20	178	9	2
3月	25	282	11	6
合計 (平均)	259	12,128	45	146

※小数点以下を四捨五入

※1. 8/10～8/14 : 夏季一斉休暇

※2. 12/25～1/6 : 冬季休暇

( 1 3 ) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計

7月19日 (日)	279
7月26日 (日)	367
12月13日 (日)	108
12月25日 (金)	116
1月6日 (水)	233
1月16日 (土)	334
1月17日 (日)	273

○開館時間 9 : 00 ~ 17 : 00

○2008年1月から試験対策として試験期間前または試験期間中の日曜・祝日等を対象に臨時開館を開始した。

○後期試験直前の開館は学生へのメリットが大きいと判断し、2009年度より関係部局の了解のもとでセンター試験当日の臨時開館を開始した。

○2014、2015年度は冬季休暇期間の前後1日を臨時開館日とした。

○2015年度より卒業論文対応として、12月中に臨時開館日を1日追加した。

## 5 参考業務統計

### 図書館間相互協力

単位=件数

サービス種別		文書による調査		文献複写		閲覧願	
		2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度
受付	他大学から	45	55	681	551	33	26
	大学以外から	6	7	36	26	6	6
	国外から	0	0	11	20	0	0
	受付小計	51	62	728	597	39	32
依頼	他大学へ	71	77	298	334	43	60
	大学以外へ	1	2	71	43	0	2
	国外へ	0	0	13	28	0	0
	依頼小計	72	79	382	405	43	62
合計 受付＋依頼		123	141	1,110	1,002	82	94

サービス種別		資料貸借	
		2014年度	2015年度
受付（貸出）	他大学から	150	157
	大学以外から	28	14
	国外から	1	4
	受付（貸出）小計	179	175
依頼（借受）	他大学へ	158	131
	大学以外へ	13	12
	国外へ	5	3
	依頼（借受）小計	176	146
合計 受付＋依頼		355	321

## 6 AV資料等運用業務統計

### (1) AV・マイクロ資料利用統計

(2015)

開室日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
種別		22	23	26	27	16	25	27	21	21	20	2	0	230日
ビジュアル資料 (NDC分類)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2件
	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4件
	2	4	1	2	2	0	2	4	1	1	1	0	0	18件
	3	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	3	0	7件
	4	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5件
	5	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4件
	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1件
	7 映画	737	784	937	675	104	468	937	635	632	321	16	0	6,246件
	7 その他	210	179	230	171	14	78	157	109	101	47	2	0	1,298件
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	持ち込み	39	34	59	39	0	5	14	6	12	16	0	0	224件
	付属資料	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
	小計	993	1,000	1,236	889	118	554	1,115	754	746	385	21	0	7,811件
オーディオ資料	古典音楽	31	13	7	3	0	3	10	18	3	0	0	0	88件
	軽音楽	25	13	6	8	0	2	18	3	3	5	0	0	83件
	語学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	文芸	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1件
	その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3件
	持ち込み	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	4件
	付属資料	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3件
	小計	59	29	13	13	0	6	29	21	7	5	0	0	182件
ROM	CD/DVD-ROM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
マイクロ	新聞	20	113	6	39	0	65	33	12	16	0	0	0	304件
	その他	1	2	2	7	0	39	16	1	2	0	0	0	70件
	持ち込み	0	0	1	2	3	6	0	0	2	0	0	0	14件
	小計	21	115	9	48	3	110	49	13	20	0	0	0	388件
資料総計		1,073	1,144	1,258	950	121	670	1,193	788	773	390	21	0	8,381件
AVルーム利用数		4	9	22	19	3	8	19	14	7	5	0	0	110件

開架CDのオーディオソファアでの利用を除く



## (2) AVホール利用統計

(2015)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	12	4	16	16	1	1	18	15	23	2	0	0	108 件

新入生ガイダンスでの利用を除く

## (3) AVゾーン利用者別統計

(2015)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	年度合計
利 用 者	学生	1, 369	1, 299	1, 483	1, 105	83	591	1, 311	966	926	483	8	0	9, 624 人
	大学教員	4	6	15	4	1	0	5	1	3	0	0	0	39 人
	学園教員	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2 人
	全学職員	0	1	0	2	1	3	4	3	0	0	0	0	14 人
	その他	4	5	6	4	4	6	6	8	5	0	1	0	49 人
合 計		1, 377	1, 311	1, 504	1, 115	90	600	1, 326	978	935	483	9	0	9, 728 人

## (4) マイクロ資料利用者別統計

(2015)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
学生	8	17	2	1	0	7	6	2	5	0	0	0	48 人
大学教員	3	2	2	10	1	9	1	1	2	0	0	0	31 人
学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
全学職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 人
その他	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	5 人
合 計	11	20	4	12	1	16	7	4	9	0	0	0	84 人

## (5) 保守点検等

- ・AVゾーンおよびAVホール保守点検（2016年2月8日、2月9日）

## 7 図書館機械化の経緯と現状

### (1) 図書館システム導入の経緯

- 1994. 9. 1 CALIS 基本システム 導入
- 1995. 12. 1 OPAC 用端末 3 台 開放
- 1995. 1. 1 洋書閲覧用カード 凍結
- 1995. 7. 30 データ遡及入力の外注開始
- 1995. 9. 26 学内 LAN 設置 (インターネット接続)
- 1995. 10. 30 学術情報センターCAT 接続完了
- 1995. 11. 1 学術情報センター接続システム 導入
- 1996. 1. 1 和書閲覧用カード 凍結
- 1996. 1. 30 ネットワーク用 OPAC 導入
- 1996. 2. 23 学術情報センターへの所蔵登録 開始
- 1996. 3. 1 ネットワーク用 OPAC 開放
- 1996. 4. 1 閲覧システム 稼働
- 1996. 4. 16 学術情報センターILL システム 参加
- 1996. 7. 1 新着図書案内 開始
- 1997. 7. 1 雑誌管理システム 一部開始
- 1998. 4. 1 蔵書点検システム 開始
- 1998. 4. 1 図書管理システム 導入
- 1999. 10. 14
  - 15 新業務サーバー データコンバートテスト
- 1999. 11. 1 新業務サーバー 稼働
- 2000. 1. 1 WebOPAC 稼働
- 2000. 3. 27 図書館ホームページ 開設
- 2000. 4. 5 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
- 2000. 6. 22 図書館ネットワーク用代理サーバー 移設
- 2001. 11. 1 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
- 2002. 6. 1 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
- 2002. 11. 5 情報コンセント 30 口 設置
- 2003. 6. 24 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 設置
- 2004. 3. 25 情報コンセント 4 口・無線 LAN AP 設置
- 2004. 8. 16 新業務サーバー 稼働
  - CATP-CASE3 システム 稼働
  - WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
  - VTSS 接続 廃止
  - LAT 廃止
- 2004. 10. 28 CD/DVD-ROM サーバー サービス開始
- 2005. 1. 8 利用状況照会サービス 開始
- 2005. 12. 21 CD-ROM 検索端末 2 台 置き換え
- 2006. 1. 10 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 置き換え

2006. 7. 11 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 置き換え  
 2006. 8. 17 図書館 LAN の独立  
 2006. 9. 20 CASE3 AV システム 開始  
 2007. 4. 1 Web OPAC AV システム対応 サービス開始  
 2007. 6. 11 情報アクセス端末 10 台 設置  
 2007. 9. 25 3 号館雑誌室・書庫 開室  
               WebOPAC 用 PC 端末 3 台 (雑誌室 2、書庫 1) 設置  
 2008. 6. 5 情報アクセス端末 10 台 増設  
 2009. 4. 1 AV 用 OPAC→Web OPAC 用端末 5 台 置き換え  
 2010. 8. 16 図書館システムを NEC E-Cats Library に変更  
               WebOPAC 用 PC 端末 12 台 置き換え  
               自動貸出装置 1 台 設置  
 2010. 9. 24 MNC 管轄の学習用 PC 15 台 設置  
               MNC 管轄のオンデマンドプリンター 1 台 設置  
 2011. 10. 1 3 号館雑誌室・書庫 WebOpac 用 PC 端末 3 台 置き換え  
 2012. 8. 16 次世代 OPAC 稼働  
 2012. 8. 31 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 廃止  
 2012. 10. 19 成城大学リポジトリ 公開  
 2013. 3. 18 情報アクセス端末 20 台 廃止  
 2013. 3. 25 MNC 管轄の学習用 PC 35 台 設置 (+15 台 置き換え)  
 2013. 9. 14 Newspaper Direct 専用モニター 稼働  
 2013. 9. 21 自動 PC 貸出ロッカー 稼働 (MNC 管轄の学習用 PC 20 台)  
 2013. 9. 21 NEC ブレインボード (タッチパネル内蔵モニター) 4 台 稼働  
 2014. 10. 1 レファレンスカウンター情報検索端末 2 台設置  
 2015. 3. 27 図書館ホームページ (Web サイト) リニューアル

## (2) 現状

### ①入力蔵書データ数 (2016 年 3 月 31 日現在)

和 書	493,039 冊	洋 書	313,456 冊	計	806,495 冊
和雑誌	189,649 冊	洋雑誌	88,916 冊	計	278,565 冊
和 A V	33,244 点	洋 A V	41,125 点	計	74,369 点

### ②図書館システムサーバー構成

E-Cats Library : DB サーバー  
                   : OPAC サーバー  
                   : 評価環境サーバー  
 その他          : CD・DVD-ROM サーバー  
                   : PROXY サーバー

③接続端末等

<利用者用端末台数>

OPAC 用 17, CD-ROM 用 4, CD-ROM 用プリンター 1,  
NewspaperDirect 用 1, サイネージ用 1

<業務用端末台数>

スタッフ用 39, カウンター用 7,  
作業用（研究室貸出・4F・B3F）3, ノート 7

<その他端末台数>

プリンター 8, 複合機 2, 無線 LAN AP 4

<MNC 管轄端末台数>

学習用 PC 70, オンデマンドプリンター1, 情報コンセント 34

<3 号館雑誌室・書庫設置端末台数>

業務用 PC 4, 利用者用 PC 3, 複合機 2,  
プリンター 1, 学習用 PC 8（MNC 管轄）, オンデマンドプリンター 1

## 8 図書館施設概要

### <図書館>

竣 工	1989年8月	
構 造	鉄筋コンクリート造	地上5階 地下3階 塔屋1階
建築面積	1,088.16㎡	
延床面積	6,525.79㎡	
塔 屋	5.17㎡	
5 F	140.00㎡	機械室
4 F	648.36㎡	事務室 館長室 会議室 ワークルーム スタッフルーム
3 F	877.38㎡	開架閲覧室 プレゼンテーションルーム2 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
2 F	903.81㎡	開架閲覧室 プレゼンテーションルーム1 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
1 F	986.95㎡	メインカウンター レファレンスカウンター コピー室 参考図書コーナー 新刊雑誌コーナー 新聞コーナー 目録コーナー 検索端末コーナー ワークルーム アクティブラーニングエリア
B1F	799.84㎡	開架閲覧室 グループ学習室 製本準備室 コピーコーナー AVマイクロ保存室
B2F	1,067.98㎡	開架閲覧室 貴重書室 AVマイクロ資料室 AVカウンター AVゾーン AVルーム AVホール
B3F	1,096.30㎡	保存書庫 機械室 電気室
収蔵能力合計	672,000冊	(開架 286,000冊 閉架 386,000冊) 2001、2002年度に開架各6,000冊分を増設
閲覧座席数	606席	2001、2002年度に各10席分を増設、 2013年度に82席分を増設
AVホール	90席	

### <大学4号館(旧図書館)>

竣 工	1968年8月	
構 造	鉄筋コンクリート造	地上4階 積層書庫6層
	1989年11月より学内他部局と共用	
図書館使用部分	書庫6層	79.38㎡
	書庫5層	79.38㎡
	書庫3層	158.76㎡
	書庫1層	158.76㎡
	1階荷解室	38.88㎡
	1階保管室	48.60㎡
	書庫部分の収蔵能力合計	120,000冊

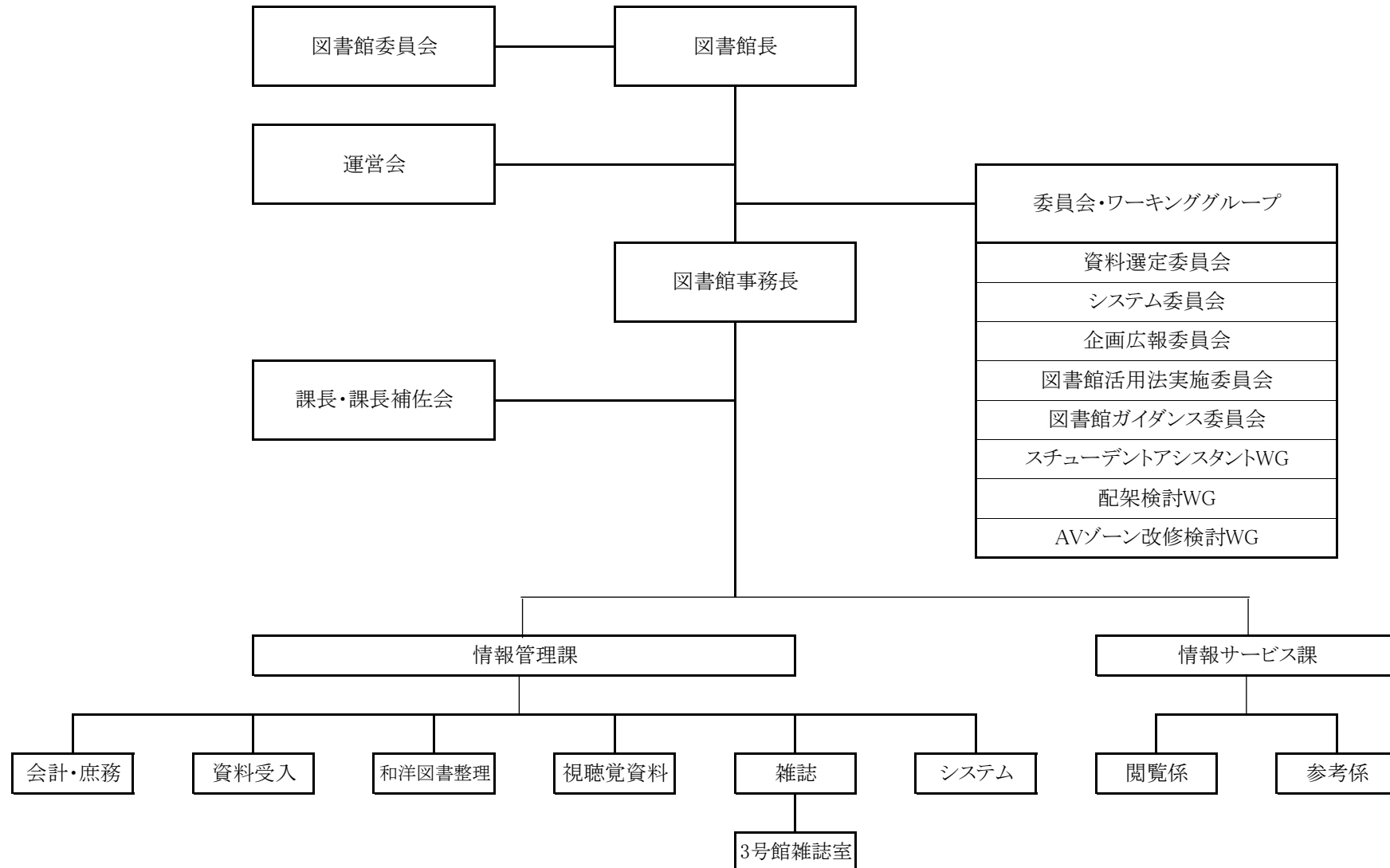
### <3号館雑誌室および書庫>

竣 工	2007年9月	
構 造	鉄筋コンクリート造	地上8階 地下1階
図書館使用部分	雑誌室(3階)	191.24㎡
	書庫(地下1階)	325.66㎡(2層分計)

(2015. 4. 1)

## IV 組織

### 1 組織図



(2015.4.1)

## ＜歴代図書館長＞

1	中野 三郎	(成城大学)	1953年4月	～	1955年3月
2	池田 勉	(文芸学部)	1955年4月	～	1965年3月
3	岡田 俊平	(経済学部)	1965年4月	～	1971年3月
4	宮崎 孝一	(文芸学部)	1971年4月	～	1975年3月
5	上野 格	(経済学部)	1975年4月	～	1979年3月
6	石川 弘義	(文芸学部)	1979年4月	～	1983年3月
7	安田 一郎	(法学部)	1983年4月	～	1987年3月
8	横川 新	(法学部)	1987年4月	～	1991年3月
9	木綿 良行	(経済学部)	1991年4月	～	1995年3月
10	毛利 三彌	(文芸学部)	1995年4月	～	1997年3月
11	木村周市朗	(経済学部)	1997年4月	～	2001年3月
12	新山 一雄	(法学部)	2001年4月	～	2005年3月
13	浅井 良夫	(経済学部)	2005年4月	～	2009年3月
14	福光 寛	(経済学部)	2009年4月	～	2011年3月
15	木畑 洋一	(法学部)	2011年4月	～	2015年3月
16	山本 輝之	(法学部)	2015年4月	～	

## ＜略史＞

1926年	4月	成城高等学校 創設
1927年	4月	成城高等女学校 創設
1928年	12月	「澤柳記念図書館」 竣工
1950年	4月	成城大学経済学部 成城大学理学部 開設
1952年	3月	成城大学理学部 廃止
1953年	11月	「成城学園中央図書館」と改称
1954年	4月	成城大学文芸学部 成城大学短期大学部 開設
1957年	4月	旧図書館（旧柳田文庫） 増改築 「成城大学図書館」と改称
1968年	8月	旧図書館（大学4号館） 竣工
	9月	開館
1977年	4月	成城大学法学部 開設
1989年	8月	新図書館 竣工
	11月	開館
2005年	4月	社会イノベーション学部 開設
2007年	9月	3号館雑誌室および書庫 開設
2013年	8月	アクティブラーニングのための施設改修

# 成城大学図書館年報 第17号

2015年度図書館業務報告

2017年3月1日発行

編集・発行 成城大学図書館

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20

電話 03-3482-3555 (ダイヤルイン)

URL <http://www.lib.seijo.ac.jp/>